

年間授業計画

板橋有徳高等学校 令和7年度（2年次用）教科

国語

科目 論理国語

教科：国語

科目：論理国語

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～5組

教科担当者：（応用：毛呂（標準：内田（基礎：村岡）（組：）（組：）（組：）

使用教科書：（論理国語 大修館書店）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語についての知識や技能を身に着けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者とのかかわりのなかで伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重して、その能力の向上を図る態度を養う。

科目 論理国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。	論理的、批判的に考える力を伸ばし、また他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	世界を広げる批評の言葉 ・筆者が定義することを的確に押さえ、主張をとらえる。 ・これからの時代における「書く」「読む」力について、自分の考えをもつ。	・筆者の主張とその前提や反証などについて理解させる。 ・「読むこと」において、内容や構成、論理の展開をふまえながら要旨を把握させる。 ・内容に関して自らの考えをもたせる。	【知識・技能】 ・筆者の主張とその前提や反証などについて理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、内容や構成、論理の展開をふまえながら要旨を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・進んで筆者の主張とその根拠や論拠をとらえようとするとともに、内容に関して自らの考えをもち伝えようとしている。	○	○	○	4
	ミロのヴィーナス ・比喩的な表現に注意しつつ、論の展開をとらえる。 ・筆者の主張をふまえて、美しさについて、理解を深める。	・必要な語句の量を増やす。 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成を把握させる。 ・学習課題に沿って、本文中の比喩表現に注意しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえさせる。	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、本文中の比喩表現に注意しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		
	コミュニティから見た日本 ・グラフと関連づけながら本文の内容を読み取る。 ・日本社会の特徴について、理解を深める。	・語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確にとらえさせる。 ・学習課題に沿って、グラフと本文の内容を関連づけながら、粘り強く筆者の主張をとらえさせる。	【知識・技能】 ・語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確にとらえている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、グラフと本文の内容を関連づけながら、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	○	○	○	5
	スキーマと記憶 ・実験結果などの具体例の本文中での役割を理解し、主張を読み取る。 ・記憶や学習におけるスキーマの働きを理解し、ものの見方を広げる。	・本文において主張に当たる情報とそれを裏づける情報とを明確に区別させる。 ・「読むこと」において、本文の構成における具体例の役割についての理解させる。 ・本文の内容に興味をもち、意欲的に学習活動に取り組ませる。	【知識・技能】 ・本文において主張に当たる情報とそれを裏づける情報とを明確に区別している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、本文の構成における具体例の役割についての理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・本文の内容に興味をもち、意欲的に学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	4
定期考査			○	○			

2 学 期	「方言」コスプレ現象 ・筆者の方言に対する視点や分析のしかたを的確にとらえる。 ・方言と社会の変容との関係に興味をもち、探究する。	・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・「読むこと」において、関連する文章や資料をもとに、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深める。 ・学習課題に沿って、方言に関する具体例に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえさせる。	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、関連する文章や資料をもとに、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、方言に関する具体例に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。				1	5		
	社会的実存としての言語・法・貨幣 ・論の展開のしかたや、具体的なエピソードの意図を理解する。 ・言語・法・貨幣がどのような存在かを読み取り、社会に対する認識を深める。	・言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解させる。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深める。 ・学習課題に沿って、具体的なエピソードに注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえさせる。	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、具体的なエピソードに注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。				○	○	○	5
	定期考査					○	○			
	敬語への自覚、他者への自覚 ・敬語についての筆者の主張と論理の展開を的確につかむ。 ・敬語や若者言葉など、言葉と社会の関係に興味をもち、考えを深める。	・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深める。 ・学習課題に沿って、敬語のもつ働きに注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえさせる。	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、敬語のもつ働きに注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。				○	○	○	4
	現代日本の開化 ・小見出しごとに文章の要旨をとらえ、筆者の主張をつかむ。 ・グローバル時代における文化の多様性の価値を考える。	・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握させる。 ・学習課題に沿って、本文の小見出しにも注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえさせる。	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。[B(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、本文の小見出しにも注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。				○	○	○	4
定期考査					○	○				

3 学 期	対話の精神	<ul style="list-style-type: none"> ・ 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・ 「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深める。 ・ 学習課題に沿って、本文中の語句の定義を押さえ、粘り強く筆者の主張を読み取らせる。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習課題に沿って、本文中の語句の定義を押さえ、粘り強く筆者の主張を読み取ろうとしている。 				5
	科学は生きている	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主張とその根拠や前提となる情報との関係について理解させる。 ・ 「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握させる。 ・ 積極的に、学習課題に沿って、筆者の主張と根拠の関係を理解した上で論の展開をとらえさせる。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主張とその根拠や前提となる情報との関係について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 積極的に、学習課題に沿って、筆者の主張と根拠の関係を理解した上で論の展開をとらえようとしている。 				5
	絵を見る技術	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文章の種類にもとづく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 ・ 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価する。 ・ 本文と図版を関係づけて読むことをとおして、段落相互の関係に注意しながら、書き手の意図との関係において構成や展開を積極的にとらえ、今後の学習に生かす。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文章の種類にもとづく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本文と図版を関係づけて読むことをとおして、段落相互の関係に注意しながら、書き手の意図との関係において構成や展開を積極的にとらえ、今後の学習に生かそうとしている。 				5

年間授業計画

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 国語 科目 文学国語

教科：国語 科目：文学国語 単位数：2 単位
 対象学年組：第2学年 1組～5組
 教科担当者：（中林）（毛呂）（組：）（組：）（組：）（組：）
 使用教科書：（『文学国語』東京書籍）

教科 国語 の目標：
 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語についての知識や技能を身に着けるようにする。
 【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者とのかかわりのなかで伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
 【学びに向かう力、人間性等】言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重して、その能力の向上を図る態度を養う。

科目 文学国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 時 数
		話・聞	書	読						
雨月物語 筆者の主張の展開を押さえ、物語を読む。	取り上げられている作品や作者の例から筆者が導いていることに注意しながら、本文を通読する。 取り上げられている作品と作者について、確認する。 2グループで意見交換をする。	○	○	○	○	○	○	○	○	2
窓 ・登場人物の言動・心理を表現に即して読み取り、「小説」の持つ意味について考える。	・内容や場面の展開を理解し、描写のしかたなどを的確にとらえ、作品の構成を理解する。 ・登場人物の描写の役割について注意を払い、抽象的な文章からものの見方、感じ方、考え方などを深め作品を読み味わう。		○	○	○	○	○	○	○	4
1学期 定期考査						○	○			1
山椒魚 ・登場人物の言動・心理を表現に即して読み取り、現代社会における人間関係について考える。	・内容や場面の展開を理解し、描写のしかたなどを的確にとらえ、作品の構成を理解する。 ・登場人物の描写や山椒魚が象徴する者について注意を払い、ものの見方、感じ方、考え方などを深め作品を読み味わう。		○	○	○	○	○	○	○	6
モードの変遷 ・短歌を題材にした評論を読み、詩歌の表現の特色について理解を深める。	・内容や場面の展開を理解し、描写のしかたなどを的確にとらえ、作品の構成を理解する。 ・時代性と短歌のかかわりについて注意を払い、ものの見方、感じ方、考え方などを深め作品を読み味わう。		○	○	○	○	○	○	○	2
定期考査						○	○			1

年間授業計画

板橋有徳 高等学校 令和7年度（2年次用）教科

国語 科目 古典探究

教科：国語

科目：古典探究

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 年次

教科担当者：（村岡）

使用教科書：（『高等学校古典探究 古文編・漢文編』第一学習社）

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語についての知識や技能を身に着けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者とのかかわりのなかで伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重して、その能力の向上を図る態度を養う。

科目 古典探究

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読						
1 学期	ガイダンス 『小式部内侍が大江山の歌の事』 著名な和歌にまつわる話を読み、説話として語り伝えられた背景事情について理解を深める。 用言の活用	・本話の背景となる人物関係、地理的關係について理解する。 ・登場人物の行動・心情を的確に捉える。 ・和歌の修辞技法を理解し文脈に応じた解釈をする。 ・歌徳説話であることを理解する。 ・動詞の活用を復習し、確実に習得する。	○	○	○	[知技] 1 説話と『古今著聞集』の概要を理解している。 2 人物関係、地理的關係を理解している。 3 用言の活用を理解している。 [思判表] 1 話の展開と登場人物の行動や心情についての的確に捉えている。 2 主語を的確に捉え、人物関係を把握しながら、内容を読解している。 3 和歌の修辞技法を理解し、文脈に応じた解釈をしている。 [主]進んで和歌説話の特徴を理解し、ペアワークやグループワークに取り組んでいる。	○	○	○	6	
	定期考査 『あだし野の露消ゆるときなく』 争乱と政変の時代を生きた作者の、世の諸事情に向けた批評の目を通して、ものの見方や考え方を深める。 『ゆく川の流る』 鎌倉初期という時代の転換期に作者が抱いた、人の世に対する思いを通して、ものの見方や考え方を深める。 助動詞	・対比的視点に留意して内容や構成を捉える。 ・作者の、無常観に対する肯定的な感じ方を捉える。 ・漢文訓読調の表現の技巧について理解する。 ・本文の読解を通して自分のものの見方、考え方を深める。 ・用言の活用と音便、助動詞の活用と意味を習得する。	○	○	○	[知技] 1 『徒然草』『方丈記』の作者や成立状況等、作品に関する概要を理解している。 2 古文に特徴的な語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。 3 漢文訓読調の表現の技巧について理解している。 4 助動詞の意味とその用法について理解している。 [思判表] 1 本話の内容や構成などを捉えている。 2 本話の背景を理解して作者の物の見方、表現の工夫を理解している。 3 本文の読解を通して自分のものの見方、考え方を深めている。 [主]古典作品の内容を踏まえて、その思想について現代文化に應用して考え、自分のものの見方や考え方を深めている。	○	○	○	1 2 2	
	定期考査						○	○		1	
2 学期	『初冠』 物語の中で和歌が果たしている役割を推し進めながら、場面と登場人物の心情とを読み味わう。 『姨捨』 和歌の詠まれた事情を語る、散文性や叙情性の強い歌物語を読んで、古典の世界の多様性を知る。 助動詞	・歌物語の特徴として、文章の内容と和歌の関連が重視されることを理解する。 ・主語を的確に捉え、人物関係を把握しながら内容を理解する。 ・男の行動や心情について自分の意見を述べたり、意見を交換したりして考察する。 ・助動詞の活用、意味を理解する。	○	○	○	[知技] 1 『伊勢物語』『大和物語』の構成等、作品に関する基本的知識を身につけている。 2 古文に特徴的な語句の量を増やし、語彙を増やしている。 3 歌物語の特徴として、文章の内容と和歌の関連が重視されることを理解している。 4 和歌の修辞技法を理解している。 5 助動詞の意味とその用法について理解している。 [思判表] 1 話の展開と登場人物の行動や心情についての的確に捉えている。 2 主語を的確に捉え、人物関係を把握しながら、内容を読解している。 [主] 1 進んで歌物語の特徴を理解し、和歌の表現技法や平安貴族の独特な価値観や美的感覚に興味を持って読み解きに取り組んでいる。 2 男の心情の変化について自分の意見を述べるができる。意見を交換し、自分とは異なる意見にも理解を示している。	○	○	○	6	
	定期考査					○	○		1		

2 学期	『かぐや姫の昇天』 平安初期に書かれた作り物語の場面設定や心理描写を読み味わい、その伝奇性を生んだ古代人の想像力に触れる。	<ul style="list-style-type: none"> ・『竹取物語』の概要を理解する。 ・心情語、強調表現、敬語に注意しつつ、登場人物の発言の内容を理解し、心情を想像する。 	○	○	○	[知技] 1 『竹取物語』の概要を理解している。 2 古文に特徴的な語句の量を増やし、語感を磨くとともに、語彙を豊かにしている。 3 和歌の修辞技法を理解している。 [思判表] 1 話の展開と登場人物の行動や心情についての確に捉えている。 2 主語を的確に捉え、人物関係を把握しながら、内容を読解している。 [主] かぐや姫が遺した手紙に込めた心情を読み味わい、こおような伝奇的物語が生み出された理由について、積極的に意見交換し、考えを深めようとしている。	○	○	○	4
	定期考査						○	○		1
3 学期	『弓争ひ』 歴史物語という、実際の歴史に取材した物語を読み、宮中を中心とする権力者達の姿の一端に触れる。 助動詞、敬語	<ul style="list-style-type: none"> ・当時の道長、道隆の状況や関係性を理解する。 ・道長と伊周の対照的な描写に注意し、主語を正しく把握し、内容を読み取る。 ・助動詞、補助動詞等、身分に応じた敬語の使い分けに注意する。 	○	○	○	[知技] 1 「歴史物語」の概要を理解している。 2 当時の役職や立場などについても理解している。 3 古文に特徴的な語句の量を増やし、語感を磨くとともに、語彙を豊かにしている。 4 助動詞、敬語を理解している。 [思判表] 1 話の展開と登場人物の行動や心情についての確に捉えている。 2 主語を的確に捉え、人物関係を把握しながら、内容を読解している。 [主] 本文を通して考えたことを進んで話し合ったりまとめようとしている。	○	○	○	8
	『故事・寓話』 現在使われている言葉の由来となった漢文を読み、漢文が日本語に与えた影響について理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ・漢文訓読のきまりを理解し、書き下し文を正しく書く。 ・故事成語の意味を理解し、語彙を豊かにする。 	○	○	○	[知技] 1 教材の故事成語を理解している。 2 漢文訓読のきまりを理解している。 [思判表] 1 本文の内容を理解している。 [主] 進んで話の特徴を理解し、学習の見通しをもって言葉の調査に取り組んでいる。	○	○	○	4
定期考査							○	○		1

年間授業計画

板橋有徳 高等学校 令和7年度(2年次用) 教科

地理・歴史 科目 日本史探究

教科: 地理・歴史 科目: 日本史探究

単位数: 2 単位

対象学年組: 第2年次 1組～5組

教科担当者: 佐々木・吉村

使用教科書: (山川出版社『高校日本史』)

教科 地理・歴史

の目標:

- 【知識及び技能】 社会的事象等に関する理解などを図るための知識と社会的事象等について調べまとめる技能を身に付ける
- 【思考力、判断力、表現力等】 社会的事象等の意味や意義、特色や相互の関連を考察する力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて構想する力や、考察したことや構想したことを説明する力、それらを基に議論する力を身に付ける
- 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学習に取り組む態度と、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される自覚をもつ

科目 日本史探究

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
歴史の展開に関わる諸事象を、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察したり、効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や理解を通して涵養される日本国民としての自覚、他国を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1部 原始・古代 【知識及び技能】 旧石器文化・縄文文化の時代の社会を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 打製石器・磨製石器・縄文土器の発掘、堅穴住居の状況などを古代社会の生活に結び付け考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 大陸からもたらされた文化による社会の変化を主体的に学ぶ姿勢を持つ。	第1部 原始・古代 第1章 日本文化のあけぼの 1 文化の始まり 2 農耕社会の成立	【知識・技能】 日本列島における旧石器文化・縄文文化の成立と変容を、自然環境の変化や大陸との影響に着目して理解している。 【思考・判断・表現】 黒曜石などの考古資料をもとに、集落・風習・食生活の変化などを踏まえて旧石器文化・縄文文化の社会について考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成について考察し、旧石器文化や縄文文化の特色を明らかにしようとしている。	○	○	○	4
	第1部 原始・古代 【知識及び技能】 地域の首長の出現から統一国家に至る過程を、古墳の変容からとらえる。 【思考力、判断力、表現力等】 ヤマト政権の権力争いや大陸文化の摂取に着目して、飛鳥時代を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 大王と豪族の関係性などから国家政治体制の変容を考察し、主体的に学ぶ姿勢を持つ。	第1部 原始・古代 第2章 古墳とヤマト政権 1 古墳文化の展開 2 飛鳥の朝廷	【知識・技能】 国家の形成と古墳文化、推古天皇・厩戸王・蘇我馬子による政権運営や飛鳥文化の特色について、理解している。 【思考・判断・表現】 中国大陸・朝鮮半島の交渉がもつ意味や、小国の形成過程について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 政治や文化の展開についての課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	第1部 原始・古代 【知識及び技能】 律令にもとづく国内統治体制について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 律令国家が成立するまでの政治過程について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 律令体制の完成期としての奈良時代を、律令体制の状況を多角的・多面的にとらえて法治国家としての枠組みを考察する。	第1部 原始・古代 第3章 律令国家の形成 1 律令国家への道 2 平城京の時代 3 律令国家の文化・変容	【知識・技能】 東アジアとの関係の変化や社会の変化と文化との関係などに着目して、諸政策や平安文化の変容を理解している。 【思考・判断・表現】 資料をもとに、藤原氏を中核とする政治抗争の進展と土地制度の変容を関連づけて考察し、根拠を示して表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 隋・唐などの中国王朝から導入された文化を考察し、政治や社会の動きとのつながりを見出そうとしている。	○	○	○	6
	第1部 原始・古代 【知識及び技能】 貴族政治の展開と摂関政治の仕組みを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 摂関政治の特徴について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 摂関家と結びつく武士の登場を時代背景と共に考察している。	第1部 原始・古代 第4章 貴族政治の展開 1 摂関政治 2 国風文化	【知識・技能】 藤原北家が権力を掌握していく過程を律令体制の変容の観点から摂関政治を理解している。 【思考・判断・表現】 国際関係の変化や遣唐使の廃止などを踏まえ、貴族の生活・文化の特色を考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 国司の在り方や徴税方式の変化、武士の出現など、地方の豪族や武力をもった勢力の動向が政治・社会に与えた影響を明らかにしようとしている。	○	○	○	6
定期考査			○	○		1	

2 学 期	<p>第Ⅰ部 原始・古代</p> <p>【知識及び技能】 地方の反乱やその鎮圧など、武士の成長過程について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 律令制にもとづく地方統治体制の崩れへの対応が、公領支配の変質、荘園の拡大をもたらした経過を考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 撰闘家と結びつく武士の登場を時代背景と共に考察している。</p>	<p>第Ⅰ部 原始・古代</p> <p>第4章 貴族政治の展開</p> <p>3 地方政治の展開と武士</p>	<p>【知識・技能】 地方の諸勢力の成長と影響などに着目して、律令制度の実態や地方における開発、などについて、その特色や変容を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 文献資料を活用して、国司の支配の変容と公領の変質、地方支配の状況を考察し、根拠を示して表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 国司の在り方や徴税方式の変化、武士の出現など、地方の豪族や武力をもった勢力の動向が政治・社会に与えた影響を明らかにしようとしている。</p>	○	○	○	4
	<p>第Ⅱ部 中世</p> <p>【知識及び技能】 院政の仕組みとその特徴を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 政治の動向、国際関係・経済・文化への対応を踏まえて、平氏政権の特性について考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 古代から中世への転換期としてとらえ、多面的に考察する。</p>	<p>第5章 院政と武士の躍進</p> <p>1 院政の始まり</p> <p>2 院政と平氏政権</p>	<p>【知識・技能】 院政前後の土地支配形態を踏まえて、院政期の政治・経済・社会・文化を理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 武士が台頭する契機や、この時期の土地制度の仕組みなどを考察し、古代から中世への時代の転換について根拠を示して表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 中世社会の特色について多面的・多角的に考察することを通じて、時代を通観する問いを表現し、追究しようとしている。</p>	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	<p>第Ⅱ部 中世</p> <p>【知識及び技能】 鎌倉幕府が東国の地方政権から全国的な武家政権に成長していく過程を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 幕府の諸政策とその影響、および外国との関係性について考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 時代の転換に着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現しようとしている。</p>	<p>第6章 武家政権の成立</p> <p>1 鎌倉幕府の成立</p> <p>2 武士の社会</p> <p>3 モンゴル襲来と幕府の衰退</p> <p>4 鎌倉文化</p> <p>第7章 武家社会の成長</p> <p>1 室町幕府の成立</p> <p>2 幕府の衰退と庶民の台頭</p> <p>3 室町文化</p> <p>4 戦国大名の登場</p>	<p>【知識・技能】 それぞれの幕府の政治体制を比べ、その特徴を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 武士・庶民の生活について、考察し中世から近世への転換点について根拠を示し表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 近世社会への転換点を含む時代考察を多面的に行っている。</p>	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1

	<p>第Ⅲ部 近世</p> <p>【知識及び技能】 幕藩体制下の支配体制や封建的身分秩序の形成に関する諸資料から適切に情報を読み取り、江戸時代の社会の構造を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 幕府、諸藩における政治の安定化や刷新について、その特色を理解し、その影響を考察している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 幕藩体制が確立する過程における様々な画期について考察し、主体的に追究しようとしている。</p>	<p>第8章 幕藩体制の成立と展開</p> <p>1 近世の幕開け 2 幕藩体制の成立 3 経済の発展</p>	<p>【知識・技能】 江戸幕府の政治の仕組みと支配体制について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 幕府の支配体制の確立について諸資料を基に考察し、適切に表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 幕藩体制が安定していく中での経済の動向と上方の豪商との関係性を踏まえ、17世紀の文化の特色を明らかにしようとしている。</p>	○	○	○	8
3 学 期	<p>第Ⅲ部 近世</p> <p>【知識及び技能】 諸藩における政治の安定化や刷新について、その特色を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 17世紀後半から18世紀前半までの江戸幕府の安定期について、その平和と秩序の確立の視点で考察している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 儒学の特徴を理解し、その発達が他の学問に与えた影響を考察する。</p>	<p>第8章 幕藩体制の成立と展開</p> <p>4 幕政の安定 5 元禄文化</p>	<p>【知識・技能】 諸資料から情報を適切に読み取り、文治政治への転換から元禄時代・正徳期に至る政治の推移について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 戦乱のない時代が創出されたことの意義を踏まえ、人々の生活や意識がどのように変化したのかを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 幕藩体制が安定していく中で、江戸幕府の諸政策がもたらした人々の暮らしへの影響について、主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1

年間授業計画

板橋有徳 高等学校 令和7年度（2年次用）教科

地歴・公民科 科目 世界史探究

教科：地歴・公民科 科目：世界史探究

単位数：2 単位

対象学年組：第2年次 1組～5組

使用教科書：（山川出版社『詳説世界史』）

教科 地歴・公民科

の目標：

- 【知識及び技能】 社会的事象等に関する理解などを図るための知識と社会的事象等について調べまとめる技能を身に付ける
- 【思考力、判断力、表現力等】 社会的事象等の意味や意義、特色や相互の関連を考察する力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて構想する力や、考察したことや構想したことを説明する力、それらを基に議論する力を身に付ける
- 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に学習に取り組む態度と、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される自覚をもつ

科目 世界史探究

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながらいしているとともに、諸資料から世界の歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、水位、比較、相互の関連や現代世界とのつながりに着目して、多面的・多角的に考したり、効果的に説明する力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探求しようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
世界史へのまなざし 【知識及び技能】 自然環境と人類の関わりの概要を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 資料をもとに、地球環境が直面している危機や克服に向けた取り組みを考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 自然環境と人類の進化について興味・関心を持ち、学習に取り組もうとしている。	世界史へのまなざし	【知識・技能】 自然環境と人類の関わり、および人類の進化の過程の概要を理解している。 【思考・判断・表現】 「地球カレンダー」などの資料をもとに、地球の自然環境が直面している機器及びその克服へ向けた取り組みを、多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 自然環境と人類の進化について、自分が抱いた興味・関心、追及してみたいことなどを見出して、学習に取り組もうとしている。	○	○	○	1
第I部 諸地域の歴史的特質の形成 【知識及び技能】 古代オリエント世界や古代南アジア世界が今日に残した文化的遺産を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 古代オリエント世界や古代南アジア世界の歴史的特質を多面的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 古代オリエント世界や古代南アジア世界について、興味・関心を見出し、積極的に授業に取り組もうとしている。	第1章 文明の成立と古代文明の特質 1 文明の誕生 2 古代オリエント文明とその周辺 3 南アジアの古代文明	【知識・技能】 都市の成立や文字の使用など、古代文明に共通する歴史的特質を理解している。 【思考・判断・表現】 壁画や粘土板などの資料をもとに、自然環境と生活や文化との関連性、農耕・牧畜の意義などを多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 古代文明や諸地域の歴史的特質について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追及してみたいことなどを見出して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	8
1 定期考査			○	○		1
第I部 諸地域の歴史的特質の形成 【知識及び技能】 中央ユーラシアの動きと中国との関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 中国王朝の社会の特徴を多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 東アジア文化圏の形成について、興味・関心を見出し、積極的に授業に取り組もうとしている。	第1章 文明の成立と古代文明の特質 4 中国の古代文明 5 南北アメリカ文明 第2章 中央ユーラシア世界と東アジア世界 1 中央ユーラシア 2 秦・漢帝国 3 中国の動乱と変容 4 東アジア文化圏の形成	【知識・技能】 中央ユーラシアと中国との関係について理解している。 【思考・判断・表現】 図像資料や考古学的資料をもとに、社会の特徴や近隣諸国への影響を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 古代中国について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追及してみたいことなどを見出して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	8
第I部 諸地域の歴史的特質の形成 【知識及び技能】 古代南アジアと東南アジアにおける宗教は文化の展開を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 東南アジアと南アジア・中国との関係を、多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 南アジア世界と東南アジア世界の形成について、興味・関心を見出し、積極的に授業に取り組もうとしている。	第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開 1 仏教の成立と南アジアの統一国家 2 インド古典文化とヒンドゥー教の定着 3 東南アジア世界の形成と展開	【知識・技能】 古代南アジアと東南アジアにおいてどのように国家が形成されたのかを理解している。 【思考・判断・表現】 東南アジアと南アジア、中国との関係およびその変遷を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 古代南アジアと東南アジアの諸国家について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追及してみたいことなどを見出して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	7
定期考査			○	○		1

2 学 期	<p>第Ⅰ部 諸地域の歴史的特質の形成</p> <p>【知識及び技能】 ギリシア世界の特徴及びそこでの人々の生活について、オリエント世界と比較いたうで理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 西アジアと地中海周辺の特徴について、多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 西アジアと地中海周辺について、興味・関心を見出し、積極的に授業に取り組もうとしている。</p>	<p>第4章 西アジアと地中海周辺の世界形成</p> <p>1 イラン諸国家の興亡とイラン文明</p> <p>2 ギリシア人の都市国家</p> <p>3 ローマと地中海支配</p> <p>4 キリスト教の成立と発展</p>	<p>【知識・技能】 西アジアと地中海世界においてどのように国家が形成されたのかを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 図像資料や考古学的資料などの資料をもとに、西アジアや地中海世界の社会の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 西アジアや地中海世界について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追及してみたいことなどを見出して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	8
	<p>第Ⅰ部 諸地域の歴史的特質の形成</p> <p>第Ⅱ部 諸地域の交流・再編</p> <p>【知識及び技能】 イスラームの拡大の展開を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 イスラーム政権の多極化が社会に与えた影響を、多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 イスラームの成立と拡大について、興味・関心を見出し、積極的に授業に取り組もうとしている。</p>	<p>第5章 イスラーム教の成立とイスラーム政権の成立</p> <p>1 アラブの大征服とイスラーム政権の成立</p> <p>2 ヨーロッパ世界の形成</p> <p>第6章 イスラーム教の伝播と西アジアの動向</p> <p>1 イスラーム教の諸地域への伝播</p> <p>2 西アジアの動向</p>	<p>【知識・技能】 イスラームの拡大について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 イスラームが西アジアや北アフリカ社会に与えた越境を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 イスラーム世界について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追及してみたいことなどを見出して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	<p>第Ⅱ部 諸地域の交流・再編</p> <p>【知識及び技能】 中世ヨーロッパにおいてローマ＝カトリック教会が普遍的権威をもつに至った背景を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 中世ヨーロッパにおいて、キリスト教が果たした文化的役割を多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 中世ヨーロッパ世界について、興味・関心を見出し、積極的に授業に取り組もうとしている。</p>	<p>第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開</p> <p>1 西ヨーロッパの封建社会とその展開</p> <p>2 東ヨーロッパ世界の展開</p> <p>3 西ヨーロッパ世界の変容</p> <p>4 西ヨーロッパの中世文化</p>	<p>【知識・技能】 中世のヨーロッパの文化について、キリスト教の影響が大きかったことを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 聖堂の写真などの図像資料などをもとに、中世ヨーロッパの文化的特徴を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 中世ヨーロッパ世界について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追及してみたいことなどを見出して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	7
<p>第Ⅱ部 諸地域の交流・再編</p> <p>【知識及び技能】 モンゴル帝国による支配が東アジアに及ぼした影響について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 明との朝貢関係が諸地域にもたらした影響を、多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 10～14世紀の東アジアの情勢について、興味・関心を見出し、積極的に授業に取り組もうとしている。</p>	<p>第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国</p> <p>1 アジア諸地域の自立化と宋</p> <p>2 モンゴルの大帝国</p> <p>第9章 大交易・大交流の時代</p> <p>1 アジア交易世界の興隆</p>	<p>【知識・技能】 モンゴル帝国がどのように成立し、解体したのか、そして帝国の支配は社会にどのような影響を与えたのかを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 図像資料を基に、この時期のアジア内およびアジアと世界の交流を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 アジア交易世界について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追及してみたいことなどを見出して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	7	
定期考査			○	○		1	

3 学 期	<p>第II部 諸地域の交流・再編 【知識及び技能】 ヨーロッパ人の進出がアジアにもたらした影響や変化を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 オスマン帝国とサファヴィー朝、ムガル帝国を比較し、それぞれの特徴を多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 アジアの諸帝国の興隆について、興味・関心を見出し、積極的に授業に取り組もうとしている。</p>	<p>第9章 大交易・大交流の時代 2 ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容 第10章 アジアの諸帝国の繁栄 1 オスマン帝国とサファヴィー朝 2 ムガル帝国の興隆</p>	<p>【知識・技能】 ヨーロッパ海洋進出について、その動機や背景、経緯を理解している。 【思考・判断・表現】 オスマン帝国、サファヴィー朝、ムガル帝国を比較したうえで、それぞれの特徴や両者の関係を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 アジア諸帝国の興隆について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追及してみたいことなどを見出して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。</p>				8
	<p>第II部 諸地域の交流・再編 【知識及び技能】 清朝の領土に組み込まれた民族と、彼らがどのようにとうちされてきたかを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 主権国家体制の成立の経緯を、多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ルネサンス期の文化について、興味・関心を見出し、積極的に授業に取り組もうとしている。</p>	<p>第10章 アジアの諸帝国の繁栄 3 清代の中国と隣接諸地域 第11章 1 ルネサンス 2 宗教改革 3 主権国家体制の成立</p>	<p>【知識・技能】 清朝と周辺諸国との関係について理解している。 【思考・判断・表現】 ウェストファリア条約の内容や当時の図像資料をもとに、主権国家体制の成立と戦争の関係を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ルネサンスについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追求してみたいことなどを見出して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。</p>				8
	<p>定期考査</p>			○	○		1

年間授業計画

板橋有徳 高等学校 令和7年度（2年次用）教科

公民

科目 公共

教科： 公民

科目： 公共

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 年次 1 組～ 5 組

教科担当者： （1組：石井 秀征） （2組：佐々木 愛彦） （3組：佐々木 愛彦） （4組：佐々木 愛彦） （5組：石井 秀征） （組： ）

使用教科書： （ 2 東書 公共 107 公共 ）

教科 公民

の目標：

【知識及び技能】 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念とともに、諸資料から、倫理的主体として活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べてまとめる技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら考えをまとめて表現することができる。

【学びに向かう力、人間性等】 現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権をになう公民として平和と繁栄を図ることや、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚を育む。

科目 公共

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
授業における学習事項全般を理解し、定期テスト等の知識・理解の確認において7割程度の正解を導くことができるとともに、提示された資料から、倫理的主体として活動するために必要となる情報を適切に収集し、読み取り、自らの意見をまとめる技能を身につける。	単元ごとの主題に対する自らの意見を多面的に判断して、公共的な空間における基本的原理を活用して、自らの意見を理由とともに説明することができるとともに、他者の意見とも比較しながら公正に判断しながら自らの考えをまとめていくことができる。	学習事項に対する関心を深め、授業での課題を解決しようとする姿勢を保ち、よりよい社会の実現に向けて、公共的な空間に生きる公民として、現代社会における諸課題についても主体的に追求し、解決しようという態度に発展していくことができる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第1部第1章 公共的な空間をつくる私たち—社会のなかの自己 (1)現代社会に生きる青年 ・青年期の特徴及び青年期の発達課題としてのアイデンティティの確立。キャリア開発、人間関係の形成と社会参画の意義などについて理解する。 ・青年期の特徴の理解をふまえ、キャリア開発と社会参画の意義について考察する。	・青年期の特徴については、自己理解や他者との関係性の側面から捉えさせる。 ・キャリア開発は、学習活動だけでなく、委員会活動や生徒会活動、部活動、ボランティア活動等さまざまな活動をとおしてなされていることに気付かせる。 ・教材及び一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・青年期の特徴及び青年期の発達課題、現代社会を生きる課題、人間関係の形成などについて理解している。 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を適切に収集し、読み取っている。 【思考・判断・表現】 ・学習主題について、多面的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習主題について、主体的に追究している。	○	○	○	3
(2)社会的な関係のなかで生きる人間 ・人間存在を、個人としての尊厳、社会的存在、伝統と文化と人間の三つの側面から、カント、J.S.ミル、アレント、ハーバーマス、和辻哲郎、丸山真男の考え方が手がかりに理解する。	・人間が個人として存在しながら、社会のなかで生きざるをえない存在であること、また、ものの捉え方や対処の仕方などが伝統・文化に影響を受けていることを理解させる。 ・教材及び一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・人間の存在を、個人としての尊厳、社会的存在、伝統文化と人間の側面から、先哲の考え方を手がかりに理解している。 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を適切に収集し、読み取っている。 【思考・判断・表現】 ・学習主題について、多面的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習主題について、主体的に追究している。	○	○	○	4
第1部第2章 公共的な空間における人間としての在り方生き方—共に生きるための倫理 ・考え方としての功利主義と幸福の原理や義務論と公正の原理を理解する。 ・生命倫理や環境倫理にかかわる課題について、功利主義や義務論の視点から考察する。	・考え方としての功利主義と幸福の原理や義務論と公正の原理を理解させる。 ・生命倫理や環境倫理にかかわる課題について、功利主義や義務論の視点から考察させる。 ・教材及び一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・現代の課題を判断し選択する手がかりとなる功利主義や義務論などの考え方について理解している。 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を適切に収集し、読み取っている。 【思考・判断・表現】 ・学習主題について、多面的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習主題について、主体的に追究している。	○	○	○	3
定期考査			○	○		1
第1部第3章 公共的な空間における基本的原理 — 私たちの民主的な社会 ・公共的な空間における基本的原理である、民主主義、法の支配と立憲主義の意義について理解する。 ・これらがなぜ公共空間の基本原則とされるのか、また、それらを実現する上での課題について考察する。	・公共的な空間における基本的原理である、民主主義、法の支配と立憲主義、人間の尊厳と平等などの意義について理解させる。 ・これらがなぜ公共空間の基本原則とされるのか、また、それらを実現する上での課題について考察させる。 ・教材及び一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・公共的な空間の基本的原理である民主主義、法の支配、立憲主義、平等などの意義について理解している。 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を適切に収集し、読み取っている。 【思考・判断・表現】 ・学習主題について、多面的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習主題について、主体的に追究している。	○	○	○	4
第2部第1章 民主政治と私たち ・政治と民主主義、地方自治及び国会、内閣のしくみと役割、政治参加と選挙、政党と利益集団、メディアと世論について、民主政治の実現の観点から理解する。 ・地方政治、国政に関する課題について、民主政治や民意の反映などの視点から解決に向けて考察し表現する。	・民主政治の基本原則を確認しながら、地方自治、国の政治のしくみについて理解させる。 ・政治参加に関する模擬選挙その他の具体例から、政治参加の重要性を理解させる。 ・教材及び一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・政治と民主主義、地方自治及び国会、内閣のしくみと役割、政治参加と選挙、政党と利益集団、メディアと世論について、民主政治の実現の観点から理解している。 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を適切に収集し、読み取っている。 【思考・判断・表現】 ・学習主題について、多面的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習主題について、主体的に追究している。	○	○	○	9
定期考査			○	○		1

年間授業計画

板橋有徳 高等学校 令和7年度（2年次用）教科

数学 科目 数学Ⅱ

教科： 数学

科目： 数学Ⅱ

単位数： 4 単位

対象学年組： 第 2 年次 1 組～ 5 組

教科担当者： (1 組：井澤・遠藤浩・早崎) (2 組：井澤・遠藤浩・早崎) (3 組：井澤・遠藤浩・早崎) (4 組：井澤・遠藤浩・早崎) (5 組：井澤・遠藤浩) (組：)

使用教科書： (新編数学Ⅱ 数研出版)

教科 数学

の目標：

- 【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学科したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し、総合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学Ⅱ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について、方程式を用いて図形を簡潔・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
A 単元 【知識及び技能】 ・三次の乗法公式及び因数分解の公式、多項式の乗法・除法及び分数式の四則演算について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・二項定理をパスカルの三角形と結び付けて考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・既習の公式を用いて新たな公式を導くことができるよさに気が付かせる。	第1章 式と証明 第1節 式と計算 1. 3次式の展開と因数分解 2. 二項定理 3. 多項式の割り算 4. 分数式 5. 恒等式	【知識・技能】 ・3次式の展開・因数分解の公式を利用することができる。 ・パスカルの三角形と二項定理の性質を理解している。 ・多項式の割り算、分数式の約分・四則演算ができる。 【思考・判断・表現】 ・二項定理をパスカルの三角形と結びつけて、性質を考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・既習事項を活用しようとしている。	○	○	○	14	
	B 単元 【知識及び技能】 ・証明方法について理解させる。 ・比例式から分数式の値の求め方を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・どの証明方法が適切か考察させる。 ・相加平均、相乗平均の関係性について考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く試行することで、証明の見通しが持てることを感じさせる。	第1章 式と証明 第2節 等式・不等式の証明 1. 等式の証明 2. 不等式の証明	【知識・技能】 ・式の証明方法を理解して証明することができる。 ・比例式から分数式の値を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・どの証明方法が適切か判断することができる。 ・相加平均、相乗平均について考察し、関係性を判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・粘り強く試行し、解決の糸口をつかもうとすることができる。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
C 単元 【知識及び技能】 ・複素数の定義について理解させ、複素数の四則演算ができるようにする。 ・複素数の範囲で、2次方程式を解くことができるようにする。 ・剰余の定理、因数定理を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・2次方程式の解について、複素数を用いて考察させる。 ・高次方程式を1次方程式や2次方程式に帰着させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・実数でない数の世界に興味・関心をもたせる。	第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と2次方程式の解 1. 複素数とその計算 2. 2次方程式の解 3. 解と係数の関係 第2節 高次方程式 1. 剰余の定理と因数定理 2. 高次方程式	【知識・技能】 ・複素数の定義を理解し、四則演算をすることができる。 ・複素数の範囲で、2次方程式を解くことができる。 ・剰余の定理や因数定理を利用して、高次方程式を解くことができる。 【思考・判断・表現】 ・2次方程式の解について、複素数を用いて考察することができる。 ・高次方程式を低次の方程式の問題へ帰着させて捉えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・複素数について興味をもち、問題に取り組もうとしている。 ・1の3乗根の性質に興味・関心をもち、問題に意欲的に取り組もうとしている。	○	○	○	17	
	D 単元 【知識及び技能】 ・2点間の距離、内分点・外分点の座標、条件を満たす直線の方程式を求めることができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・図形を座標平面上で捉えたり、式で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・図形の問題を座標平面上で代数的に解決するよさを知る。	第3章 図形と方程式 第1節 点と直線 1. 直線上、平面上の点 2. 直線の方程式 3. 2直線の関係	【知識・技能】 ・2点間の距離、内分点・外分点の座標、条件を満たす直線の方程式を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・図形を座標平面上で捉えたり、式で表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・図形の問題を座標平面上で代数的に解決するよさを知り、取り組もうとしている。	○	○	○	15
定期考査			○	○		1	

2 学 期	<p>D 単元</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 与えられた条件を満たす円の方程式や円と直線の共有点の座標、点の軌跡の求め方を理解できるようにする。 不等式の表す領域を図示することができるようになる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平面上の点の軌跡を、座標平面を利用して考察する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 図形の問題を座標平面上で代数的に解決するよさを知る。 点が満たす条件から得られた方程式が図形を表すことに興味をもたせる。 	<p>第3章 図形と方程式</p> <p>第2節 円</p> <ol style="list-style-type: none"> 円の方程式 円と直線 2つの円 <p>第3節 軌跡と領域</p> <ol style="list-style-type: none"> 軌跡と方程式 不等式の表す領域 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 与えられた条件を満たす円の方程式や円と直線の共有点の座標、点の軌跡の求め方を理解している。 不等式の表す領域を図示することができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平面上の点の軌跡を、座標平面を利用して考察することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 図形の問題を座標平面上で代数的に解決するよさを知り、取り組もうとしている。 点が満たす条件から得られた方程式がどのような図形を表しているかを考察しようとしている。 	○	○	○	17
	<p>D 単元</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 弧度法の定義や、弧度法で表された角の三角関数の値の求め方、三角関数のグラフの書き方やその特徴、三角関数を含む2次方程式の解き方を理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 単位円上の点の動きから、三角関数のグラフとその特徴を考察したり、三角関数を含む方程式・不等式を解く際に、単位円やグラフを図示して考察する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 周期関数やその性質に興味をもち、三角関数の問題に意欲的に取り組む。 	<p>第4章 三角関数</p> <p>第1節 三角関数</p> <ol style="list-style-type: none"> 角の拡張 三角関数 三角関数のグラフ 三角関数の性質 方程式、不等式 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 弧度法の定義を理解し、弧度法で表された角の三角関数の値を求めることができる。 三角関数のグラフのかき方や周期の求め方、グラフの特徴を理解している。 三角関数を含む2次方程式の解き方を理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 単位円上の点の動きから、三角関数のグラフとその特徴を考察することができる。 三角関数を含む方程式・不等式を解く際に、単位円やグラフを図示して考察することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 周期関数に興味をもち、その性質を調べようとしたり、三角関数の問題に意欲的に取り組もうとしている。 	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
	<p>D 単元</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 加法定理や、2倍角・半角の公式を利用して、三角関数の値を求めることができるようになる。 三角関数の合成について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 正接の定義と加法定理を利用して、2直線のなす角を考える。 2倍角の公式を利用して、三角関数を含む複雑な方程式・不等式の角を統一して考察する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 角を統一したり、三角関数を合成することで関数の種類を統一することができることよさを知る。 	<p>第4章 三角関数</p> <p>第2節 加法定理</p> <ol style="list-style-type: none"> 加法定理 加法定理の応用 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 加法定理や、2倍角・半角の公式を利用して、三角関数の値を求めることができる。 三角関数の合成について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 正接の定義と加法定理を利用して、2直線のなす角を考えることができる。 2倍角の公式を利用して、三角関数を含む複雑な方程式・不等式の角を統一して考察することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 角を統一したり、三角関数を合成することで関数の種類を統一することができることに興味をもち、活用しようとしている。 	○	○	○	13
	<p>D 単元</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 累乗の計算、指数法則を利用した計算、累乗根の計算ができるようになる。 指数関数のグラフの概形、特徴を理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 指数関数の増減によって、大小関係や不等式・方程式を考察することができるようになる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 点をプロットして、指数関数のグラフの概形をとらえる。 	<p>第5章 指数関数と対数関数</p> <p>第1節 指数関数</p> <ol style="list-style-type: none"> 指数の拡張 指数関数 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 累乗の計算、指数法則を利用した計算、累乗根の計算をすることができる。 指数関数のグラフの概形、特徴を理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 指数関数の増減によって、大小関係や不等式・方程式を考察することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 点をプロットして、指数関数のグラフの概形をとらえようとしている。 	○	○	○	11
定期考査			○	○		1	

	<p>D 単元</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 対数の定義を理解し、対数の性質を用いて、対数の値を求めることができるようになる。 対数関数のグラフの概形や特徴を理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 指数と対数との相互関係に着目し、書き換えられるようになる。 指数と対数の関係から、グラフの対称性をとらえる。 n桁の数、小数首位第n位の数を、不等式で表現することができるようになる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 指数と対数との相互関係に興味をもつ。 <p>数首位の問題に、対数を活用できるよさを知る。</p>	<p>第5章 指数関数と対数関数</p> <p>第2節 対数関数</p> <ol style="list-style-type: none"> 対数とその性質 対数関数 常用対数 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 対数の定義を理解し、対数の性質を用いて、対数の値を求めることができる。 対数関数のグラフの概形や特徴を理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 指数と対数とを相互に書き換えることができる。 指数と対数の関係から、グラフの対称性をとらえることができる。 n桁の数、小数首位第n位の数を、不等式で表現することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 指数と対数との相互関係に興味をもち、問題に意欲的に取り組もうとする。 桁数や小数首位の問題に、対数を活用し取り組もうとする。 	○	○	○	13
3 学期	<p>D 単元</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 極限值、微分係数、平均変化率、接線の方程式を求める。 関数の増減を調べ、増減表を書いたり、グラフをかく。 定積分の計算方法を理解し、面積を定積分を用いて求める。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 接線の傾きと微分係数との関連を図形的に考察する。 導関数を表す種々の記号を適切に使い、正しく表記できるようにする。 接線の傾きから、関数の増減を判断する。 面積を定積分で表す。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 極限值という新しい概念に興味をもち、取り組む。 関数の概形をとらえることができることに興味をもち、グラフを正しくかこうとする。 身近な問題を微分法を利用して解決できるよさや、面積を定積分で求められるよさを知る。 	<p>第6章 微分法と積分法</p> <p>第1節 微分係数と導関数</p> <ol style="list-style-type: none"> 微分係数 導関数とその計算 接線の方程式 <p>第2節 関数の値の変化</p> <ol style="list-style-type: none"> 関数の増減と極大・極小 増減・グラフの応用 <p>第3節 積分法</p> <ol style="list-style-type: none"> 不定積分 定積分 定積分と面積 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 極限值、微分係数、平均変化率、接線の方程式を求めることができる。 関数の増減を調べ、増減表を書いたり、グラフをかいたりすることができる。 定積分の計算方法を理解し、面積を定積分を用いて求めることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 接線の傾きと微分係数との関連を図形的に考察することができる。 導関数を表す種々の記号を適切に使い、正しく表記することができる。 接線の傾きから、関数の増減を判断することができる。 面積を定積分で表すことができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 極限值という新しい概念に興味をもち、取り組もうとしている。 関数の概形をとらえることができることに興味をもち、グラフを正しくかこうとしている。 身近な問題を、微分法を利用して解決しようとしている。 面積を定積分で求められるとに興味をもち、意欲的に取り組もうとする。 	○	○	○	24
定期考査				○	○		1

年間授業計画

板橋有徳 高等学校 令和7年度（2年次用）教科

数学 科目 数学B

教科： 数学

科目： 数学B

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 年次 1 組～ 5 組

第 3 年次 1 組～

5 組

教科担当者： 井澤

使用教科書： 新編 数学B (数研出版)

教科 数学

の目標： 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】

数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学科したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し、総合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学B

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学科したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学科し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 等差数列と等比数列 【知識及び技能】 等差数列と等比数列について理解し、それらの一般項や和を求める。 【思考力、判断力、表現力等】 事象から離散的な変化を見だし、それらの変化の規則性を数学的に表現し考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度を養う。	第1章 数列 第1節 等差数列と等比数列 1. 数列と一般項 2. 等差数列 3. 等差数列の和 4. 等比数列 5. 等比数列の和	【知識・技能】 ・初項と公差を文字で表して、条件から数列の一般項を決定できる。等差数列の和の公式を適切に利用して、数列の和が求められる。 ・自然数の和、奇数の和、偶数の和などが求められる。 ・初項と公比を文字で表して、条件から数列の一般項を決定できる。等比数列の和の公式を適切に利用して、数列の和が求められる。 【思考・判断・表現】 ・等差数列と等比数列の項を書き並べて、隣接する項の関係が考察できる。 ・等比数列の和の公式を利用して、和の値から数列の一般項を求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・等差数列と等比数列の一般項と和を、工夫して求めようとする意欲がある。	○	○	○	8
定期考査			○	○	○	1
B いろいろな数列 【知識及び技能】 いろいろな数列の一般項や和を求める方法について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 事象の再帰的な関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、数列の考えを問題解決に活用する。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度を養う。	第1章 数列 第2節 いろいろな数列 6. 和の記号Σ 7. 階差数列 8. いろいろな数列の和	【知識・技能】 ・第k項をkの式で表して、初項から第n項までの和が求められる。 ・階差数列を利用して、もとの数列の一般項が求められる。 【思考・判断・表現】 ・数列の和Snと第n項anの関係を理解し、数列の一般項が求められる。 ・和の求め方の工夫をして、数列の和が求められる。 ・群数列を理解し、ある特定の群に属する数の和が求められる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自然数の2乗の和を工夫して求める方法に興味をもち、自然数の2乗の和の公式を導こうとする意欲がある。 ・群数列に興味をもち、考察しようとする。	○	○	○	6
C 漸化式と数学的帰納法集合と命題 【知識及び技能】 ・漸化式について理解し、事象の変化を漸化式で表したり、簡単な漸化式で表された数列の一般項を求めたりする。 ・数学的帰納法について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自然数の性質などを見だし、それらを数学的帰納法を用いて証明するとともに、他の証明方法と比較し多面的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を養う。	第1章 数列 第3節 漸化式と数学的帰納法 9. 漸化式 10. 数学的帰納法	【知識・技能】 ・初項と漸化式から数列の一般項が求められる。 ・数学的帰納法を用いて等式、不等式、自然数に関する命題を証明できる。 【思考・判断・表現】 ・複雑な漸化式を、おき換えなどを用いて既知の漸化式に帰着して考えることができる。 ・数学的帰納法で証明した命題について、別の方法で証明してそれらと比較するなど、多面的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ $an+1=pan+q$ を満たす数列の階差数列について、具体的に考察しようとする。 ・数学的帰納法を利用して、いろいろな事柄を積極的に証明しようとする。	○	○	○	6
定期考査			○	○	○	1

2 学 期	D 確率分布 【知識及び技能】 ・確率変数と確率分布について理解する。 ・二項分布と正規分布の性質や特徴について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 確率分布や標本分布の特徴を、確率変数の平均、分散、標準偏差などを用いて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度を養う。	第2章 統計的な推測 第1節 確率分布 1. 確率変数と確率分布 2. 確率変数の期待値と分散 3. 確率変数の和と積 4. 二項定理 5. 正規分布	【知識・技能】 ・確率変数の確率分布、期待値、分散、標準偏差、和の期待を求めることができる。 ・独立な確率変数の積の期待値と和の分散を、公式を利用して求めることができる。 ・二項分布に従う確率変数の期待値や分散を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・複雑な確率分布の期待値を、確率変数の和の期待値の公式などを利用して求めることができる。 ・標準正規分布表を用いて、正規分布に関する確率の計算ができる。 ・二項分布に従う確率変数に関する確率の計算を、正規分布に従う確率変数で近似して求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・確率変数の期待値、分散に関する種々の公式を、その定義や既知の公式を用いて導こうとする。 ・二項分布に従う確率変数の期待値、分散、標準偏差の公式について、確率分布の定義から導こうとする。	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	E 統計的な推測 【知識及び技能】 ・標本調査について理解を深める。 ・正規分布を用いた区間推定及び仮説検定の方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じて標本調査を設計し、収集したデータを基にコンピュータなどの情報機器を用いて処理するなどして、母集団の特徴や傾向を推測し判断するとともに、標本調査の方法や結果を批判的に考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度を養う。	第2章 統計的な推測 第2節 統計的な推測 6. 母集団と標本 7. 標本平均の分布 8. 推定 9. 仮説検定	【知識・技能】 ・母平均、母標準偏差を求めることができる。 ・標本平均の期待値と標準偏差を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・標本平均の分布を正規分布で近似して確率を求めることができる。 ・信頼区間の考え方をを用いて、母平均や母比率の推定ができる。 ・仮説検定の考え方をを用いて、日常の身近な事象に対する主張を検定することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・母集団や標本の特徴を理解しようとする。	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	F 数列 【知識及び技能】 ・等差数列と等比数列、いろいろな数列の一般項や和を求める。 ・事象の変化を漸化式で表したり、簡単な漸化式で表された数列の一般項を求めたりする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・事象から離散的な変化を見だし、それらの変化の規則性を数学的に表現し考察すること。 ・自然数の性質などを見だし、それらを数学的帰納法を用いて証明する。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を養う。	第1章数列 総合問題演習	【知識・技能】 ・公式を適切に利用して、等差数列および等比数列の一般項と和切に利用して、数列の和が求められる。 ・第k項をkの式で表して、初項から第n項までの和が求められる。 ・階差数列を利用して、もとの数列の一般項が求められる。 ・おき換えを利用して、漸化式から一般項を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・初項と漸化式から数列の一般項が求められる。 ・群数列を理解し、ある特定の群に属する数の和が求められる。 ・数学的帰納法を用いて等式、不等式、自然数に関する命題を証明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・問題を粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○	○	1

年間授業計画

板橋有徳 高等学校 令和7年度（2年次用）教科

数学

科目 数学C

教科： 数学

科目： 数学C

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 年次 1 組～ 5 組

第 3 年次 1 組～

5 組

教科担当者： 井澤

使用教科書： 新編 数学C (数研出版)

教科 数学

の目標： 数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

【知識及び技能】

数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学科したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し、総合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学C

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	大きさと向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>A ベクトルとその演算</p> <p>【知識及び技能】 平面上のベクトルの意味、相等、和、差、実数倍、位置ベクトル、ベクトルの成分表示について理解する。ベクトルの内積及びその基本的な性質について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 実数などの演算の法則と関連付けて、ベクトルの演算法則を考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする。</p>	<p>第1章 平面上のベクトル</p> <p>第1節 ベクトルとその演算</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ベクトル 2. ベクトルの演算 3. ベクトルの成分 4. ベクトルの内積 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベクトルの和と差を図示できる。 ・ベクトルの実数倍の性質をもとに、ベクトルの演算ができる。 ・平行なベクトルを求めることができる。 ・有向線分で表されたベクトルを、2つのベクトルで表現できる。 ・具体的なベクトルを成分表示し、そのベクトルの大きさを求めることができる。また、成分表示されたベクトルの和、差、実数倍の計算ができる。 ・2点で定められるベクトルを成分表示できる。 ・ベクトルの内積や、成分表示された2つのベクトルのなす角を求めることができる。 ・ベクトルの垂直条件を理解し、成分を定めることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベクトルの平行条件を成分表示にも適用し、成分を定めることができる。 ・点の座標とベクトルの成分の関係を、座標平面上の図形の問題に活用できる。 ・内積の性質を用いて、等式を証明したり、ベクトルの大きさやなす角を求めたりすることができる。 ・三角形の面積がベクトルを用いて求められることを理解し、座標平面上の三角形の面積を求めることができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする。 	○	○	○	7
定期考査			○	○	○	1

1 学期

<p>B ベクトルと平面図形</p> <p>【知識及び技能】 位置ベクトルについて理解し、位置ベクトルを図形の性質を調べるのに活用する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ベクトルやその内積の基本的な性質などを用いて、平面図形の性質を見いだしたり、多面的に考察したりする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする。</p>	<p>第1章 ベクトル</p> <p>第2節 ベクトルと平面図形</p> <p>5. 位置ベクトル</p> <p>6. ベクトルの図形への応用</p> <p>7. 図形のベクトルによる表示</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・点の位置を、基準となる点と1つのベクトルを用いて表すことができることを理解している。 ・ベクトルを点の位置ベクトルで表すことができる。 ・線分の内分点、外分点、三角形の重心の位置ベクトルを求めることができる。 ・直線のベクトル方程式について、媒介変数を用いて表すことができる。 ・通る1点と法線ベクトルから直線が定まることを理解し、具体的に直線の方程式を求めることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・位置ベクトルを活用して、図形の性質を考察し、3点が一直線上にあることを証明できる。 ・線分の交点の位置ベクトルを求めることができる。 ・ベクトルの内積を活用して、図形の性質を証明できる。 ・点が線分AB上に存在する条件を活用して、点Pの存在範囲を求めることができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な図形の考察にベクトルを活用しようとする。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする。 	○	○	○	7
定期考査			○	○	○	1
<p>C 空間のベクトル</p> <p>【知識及び技能】 座標及びベクトルの考えが平面から空間に拡張できることを理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ベクトルやその内積の基本的な性質などを用いて、空間図形の性質を見いだしたり、多面的に考察したりする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする。</p>	<p>第2章 空間のベクトル</p> <p>1. 空間の点</p> <p>2. 空間のベクトル</p> <p>3. ベクトルの成分</p> <p>4. ベクトルの内積</p> <p>5. ベクトルの図形への応用</p> <p>6. 座標空間における図形</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空間の点と原点との距離が求められるようになる。 ・空間図形において、ベクトルの和や差を考慮することができる。 ・平行六面体におけるベクトルを、和の形に表すことができる。 ・成分表示されたベクトルの大きさを求め、ベクトルの演算ができる。 ・座標空間の2点で定められるベクトルを成分表示できる。 ・空間のベクトルの内積や、成分表示された2つのベクトルのなす角を求めることができる。 ・位置ベクトルの定義や内分点などの位置ベクトルが平面上のベクトルの場合と同じであることを理解している。 ・座標空間における2点間の距離や線分の内分点、外分点の座標、三角形の重心の座標が求められる。 ・いろいろな球面の方程式が求められる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・座標空間の3点で定まる角の大きさを、ベクトルを活用して求めることができる。 ・ベクトルの垂直条件を活用して、与えられたベクトルに垂直なベクトルを求めることができる。 ・空間における図形を、1つの頂点に関する位置ベクトルで考察できる。 ・座標平面に平行な平面や、座標軸に垂直な平面の方程式が求められるようになる。 ・球面と平面が交わってできる図形を、連立方程式の解の集合として考察できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な図形の考察にベクトルを活用しようとする。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする。 	○	○	○	8
定期考査			○	○	○	1
<p>2 学期</p> <p>D 複素数平面</p> <p>【知識及び技能】 複素数平面と複素数の極形式、複素数の実数倍、和、差、積及び商の図形的な意味を理解する。ド・モアブルの定理について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 複素数平面における図形の移動などに関連付けて、複素数の演算や累乗根などの意味を考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする。</p>	<p>第3章 複素数平面</p> <p>1. 複素数平面</p> <p>2. 複素数の極形式</p> <p>3. ド・モアブルの定理</p> <p>4. 複素数と図形</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1つの複素数が複素数平面上で1つの点を表すことを理解し、点を複素数平面上に表すことができる。 ・共役複素数を求めることができる。 ・共役複素数の図形的意味を理解し、zが実数であるための必要十分条件、zが純虚数であるための必要十分条件を理解している。 ・複素数の絶対値と複素数平面上の2点間の距離を求めることができる。 ・複素数の和、差、実数倍を計算することができる。 ・複素数を極形式で表すことができる。 ・複素数の積、商の絶対値、偏角を求めることができる。 ・複素数の積や商が複素数平面上で何を表すか理解している。 ・ド・モアブルの定理を理解し、複素数のn乗を求めることができる。また、1のn乗根を求めることができる。 ・線分の内分点や外分点を表す複素数を求めることができる。 ・原点以外の点を中心として回転した点を表す複素数を求めることができる。 ・複素数平面上で半直線のなす角を求めることができる。 	○	○	○	12

		<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複素数の和, 差, 実数倍の, 複素数平面における図形的意味を理解し, 説明できる。 ・共役複素数の性質を理解し, また, それらを証明問題に利用することができる。 ・複素数の方程式について, その意味を考えたり計算したりすることで, 表す図形を求めることができる。 ・1のn乗根の求め方をもとに, 一般の複素数のn乗根を求めることができる。 ・線分の内分点を表す複素数を活用して, 三角形の重心を表す複素数を求めることができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善したりしようとする。 ・図形の問題を, 複素数の演算の図形的意味を用いて積極的に考察しようとする。 				
定期考査			○	○	○	1

3 学 期	<p>E 式と曲線</p> <p>【知識及び技能】 放物線、楕円、双曲線が二次式で表されること及びそれらの二次曲線の基本的な性質について理解する。曲線の媒介変数表示について理解すること。極座標の意味及び曲線が極方程式で表されることについて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 放物線、楕円、双曲線を相互に関連付けて捉え、考察する。日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、コンピュータなどの情報機器を用いて曲線を表すなどして、媒介変数や極座標及び複素数平面の考えを問題解決に活用したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする。</p>	<p>第4章 式と曲線</p> <p>第1節 2次曲線</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 放物線 2. 楕円 3. 双曲線 4. 2次曲線の平行移動 5. 2次曲線と直線 <p>第2節 媒介変数表示と極座標</p> <ol style="list-style-type: none"> 6. 曲線の媒介変数表示 7. 極座標と極方程式 8. コンピュータの利用 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放物線の標準形について理解し、放物線の概形をかいたり焦点や準線を求めたりできる。また、条件から放物線の方程式を求めたりできる。 ・y軸が軸となる放物線の概形をかきことができる。 ・楕円の標準形について理解し、楕円の概形をかいたり焦点や長軸、短軸の長さを求めたりできる。 ・双曲線の標準形について理解し、双曲線の概形をかいたり焦点や頂点、漸近線を求めたりできる。 ・焦点の座標などから、楕円や双曲線の方程式を求めたりできる。 ・焦点がy軸上にある楕円の概形をかいたり、焦点や長軸、短軸の長さを求めたりできる。 ・焦点がy軸上にある双曲線の概形をかいたり、焦点や頂点、漸近線を求めたりできる。 ・x, yの2次式を変形して、2次曲線の概形を考察することができる。 ・媒介変数表示された曲線の方程式を求めたりできる。 ・円や楕円、双曲線を媒介変数表示できる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲線$F(x-p, y-q)=0$は曲線$F(x, y)=0$を平行移動したものであることを理解している。 ・方程式の解と捉え、共有点の個数について考察できる。 ・2次曲線と直線の接点を連立方程式の重解と捉え、接線の方程式を求めたりできる。 ・放物線の頂点の軌跡を、媒介変数を利用して求めたりできる。 ・媒介変数表示された曲線の平行移動について、点の平行移動をもとに考察できる。 ・点の極座標を求めたり、極座標が与えられた点の位置を求めたりできる。 ・点の座標について、直交座標と極座標を相互に変換できる。 ・円や直線を極方程式で表すことができる。また、極方程式で表される曲線を図示することができる。 ・平面上の曲線について、x, yの方程式と極方程式を相互に変換できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする。 	○	○	○	11
	定期考査			○	○	○	1

年間授業計画

板橋有徳 高等学校 令和7年度(2年次用) 教科

数学

科目 数学演習

教科: 数学

科目: 数学演習

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 2 年次 1 組 ~ 5 組

教科担当者: (a: 遠藤) (b: 北川)

使用教科書: (新編 数学 I (数研出版)、新編 数学A (数研出版))

教科 数学

の目標:

- 【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学演習

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・1年次で学習した数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	・数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力を養う。また、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力を養う。	・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1章 数と式 【知識及び技能】 ・指数法則や乗法公式といった計算規則についての理解を深め、適切に式を変形することができる。 ・乗法公式を逆に用いることで因数分解の公式として利用できることを理解し、式を正しく因数分解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・式を多面的に捉える工夫の中から、目的に応じて適切な方法を判断することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・式を多面的に捉えて、複数の方法で式を変形する方法について、それぞれのよさを比較・検討しようとしている。	・指導事項 展開 因数分解 ・教材 アクセスノート 数学 I + A (実教出版)	【知識・技能】 ・2次の乗法公式、因数分解の公式について理解を深めている。 ・数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすることができる。 【思考・判断・表現】 ・乗法公式や因数分解の公式と関連させながら、式の一部を1つの文字に置き換え、見通しをもって展開、因数分解することを考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・多項式の乗法の計算方法を振り返って、工夫して式を展開しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	1章 数と式 2章 集合と論証 【知識及び技能】 ・不等式の意味やその基本性質、不等式の解と不等式を解くことの意味について理解し、1次不等式を解くことができる。 ・命題と条件、必要条件、十分条件、必要十分条件の用語の定義を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・不等式の性質を等式の性質と対比して捉えることができる。 ・集合の包含関係に関連付けて、命題の真偽を考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・身近な問題に対してに不等式を活用しようとしている。 ・対偶を利用した証明法や背理法による証明法を考えようとしている。	・指導事項 根号を含む式の計算 不等式の性質 命題と条件 ・教材 アクセスノート 数学 I + A (実教出版)	【知識・技能】 ・不等式の解の意味を理解し、不等式の性質を用いて不等式を解くことができる。 ・集合と命題に関する基本的な概念を理解している。 【思考・判断・表現】 ・不等式の解き方を1次方程式の解き方と対比して捉えることができる。 ・集合をベン図で表すことで、集合とその要素との関係や、集合と集合の関係について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・文字を含む数を数直線上に表す活動を通して、不等式の性質について考えようとしている。	○	○	○	9
定期考査				○	○		1

2 学 期	3章 2次関数 【知識及び技能】 ・2次関数の意味や関数の値の表し方、及び2次関数の値の変化やグラフの特徴について理解し、グラフをかくことができる。 ・関数の定義域・値域の意味を理解し、1次関数や2次関数のグラフを用いて最大値、最小値を求めることができる。 ・2次不等式の解と2次関数のグラフの関係について理解し、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・2次関数のグラフを利用して、定義域に応じた値域、最大・最小を論理的に考察することができる。 ・2次不等式を利用して具体的な問題について解決することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・2次関数のグラフを利用して、定義域に応じた値域、最大・最小を考えようとしている。 ・グラフを利用して2次不等式を解こうとしている。	・指導事項 2次関数とグラフ 2次関数の値の変化 2次方程式と2次不等式 ・教材 アクセスノート数学Ⅰ+A (実教出版)	【知識・技能】 ・2次関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。 ・2次関数の最大値や最小値を求めることができる。 ・2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・2次関数の最大値・最小値についてグラフを用いて考察することができる。 ・2次関数のグラフとx軸の位置関係について、2次方程式の解に対応させて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・2次関数で学んだことのよさを認識し活用したり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。 ・2次不等式の解の考察に、2次関数のグラフとx軸の位置関係を活用しようとしている。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
2 学 期	4章 図形と計量 【知識及び技能】 ・正接、正弦、余弦の意味を理解し、それらを用いて三角形の辺の長さを求めることができる。 ・正弦定理や余弦定理を用いて、外接円の半径を求めたり、既知の辺や角から残りの辺や角の大きさを求めたりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象を三角比を利用してその問題を解決することができる。 ・三角比を用いて三角形の構成要素間の関係を考察したり、それらの関係が一般の三角形においても成り立つことを説明したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・三平方の定理や正接の定義を利用して、三角比の間に成り立つ関係を考えようとしている。 ・点の座標を用いて鋭角の三角比を表現したり、それをもとにして鈍角の三角比の定義について考えたりしようとしている。	・指導事項 三角比 三角比の相互関係・拡張 正弦・余弦定理 ・教材 アクセスノート数学Ⅰ+A (実教出版)	【知識・技能】 ・鋭角の三角比の意味と相互関係について理解している。 ・正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めることができる。 ・三角比を鈍角まで拡張する意義と、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解している。 【思考・判断・表現】 ・図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現するとともに、定理や公式として導くことができる。 ・図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日常の事象や社会の事象の中に三角形で構成された空間図形を見いだし、その空間図形の計量に三角比を活用しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
3 学 期	5章 データの分析 【知識及び技能】 ・偏差、分散、標準偏差の定義とその意味や特徴を理解し、データをもとにそれらを求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・偏差の総和を用いてデータの散らばりの大きさを表す方法を見出し、分散の定義について考察したり、標準偏差を用いることの意義について説明したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・相関関係の強弱を表す相関係数について、相関の強さが表せることの有用性を認識しようとしている。	・指導事項 データの整理・代表値 データの散らばりと四分位範囲 分散と標準偏差 2つの変量の間の関係 ・教材 アクセスノート数学Ⅰ+A (実教出版)	【知識・技能】 ・分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその使い方を理解している。 ・データを表やグラフに整理したり、分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めたりすることができる。 【思考・判断・表現】 ・データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察することができる。 ・目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・身近なデータを分析する過程を通して、統計的探究プロセスを意識した問題解決の活動について理解しようとしている。	○	○	○	17
	定期考査			○	○		合計 62

年間授業計画

板橋有徳 高等学校 令和7年度（2年次用）教科

理科 科目 物理基礎

教科： 理科 科目： 物理基礎

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2年次 1組～ 5組

教科担当者： (1組～5組：富樫 孝介 (印))

使用教科書： (第一学習社 高等学校新物理基礎)

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、現象などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 物理基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
様々な物理量について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 また、様々な物理学に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能の基礎を身に付けている。	様々な物理学に関する自然現象や科学現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	日常生活や社会との関連を図りながら物理学について関心を持ち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 1章 物体の運動 1節 運動の表し方 【知識及び技能】 ・運動の表し方を理解する。 ・速さの定義を理解し、等速直線運動について知る。 ・速度と速さの違いを学ぶ。 ・速度の合成や相対速度を学習する。 ・加速度の定義を理解する。 ・等加速度直線運動の基本公式を使う。 ・落下運動について学習する。 ・投げ上げ運動や射方投射などの運動を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・等速直線運動をグラフを用いて理解する。 ・等加速度直線運動をグラフを用いて理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 等加速度直線運動の実験を通じ、理解を深め、グラフや表を積極的に利用する。	・速さと等速直線運動 ・直線運動の加速度 ・一人1台端末の活用 ・加速度の実験 ・落体の運動	【知識・技能】 ・運動の表し方に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 ・速さの定義、等速直線運動について理解し、知識として身に付けている。 ・加速度に関して観察、実験を行い、それらに関する技能を習得し、それらの測定結果から等加速度直線運動について考察できる。 ・落体の運動を理解し、知識として身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・等速直線運動をグラフを用いて変位と時間の関係を推論できる。 ・速度と速さの違いや速度の合成や相対速度について向きや変位について論理的、総合的に判断できる。 落体の運動と等加速度直線運動を関連づけて論理的、総合的に判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・物体の運動に関心を持ち、等速直線運動や等加速度直線運動、落体の運動などを探究しようとしている。 ・合成速度、相対速度について、運動の向きと関連付けて探究しようとする。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	B 1章 物体の運動 2節 力と運動の法則 【知識及び技能】 ・力の表し方や力の3要素について理解する。 ・力の単位を学習する。 ・つり合いについて理解する。 ・フックの法則を学ぶ。 ・作用・反作用について知る。 ・慣性の法則について学習する。 ・力と加速度の関係について理解する。 ・質量と加速度の関係を学習する。 ・運動方程式を学ぶ。 ・水平上や斜面上の物体の運動について学習する。 ・摩擦力について学ぶ。 ・水圧や大気圧などから圧力について学習する。 【思考力、判断力、表現力等】 運動方程式を力の向きや合力を考えて理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 力の合力の実験を自ら進んで取り組むことができる。 水圧や大気圧の実験を自ら進んで取り組むことができる。	・力のつり合い ・運動の法則 ・運動方程式 ・水平上や斜面上の物体の運動 ・摩擦力 ・水圧や大気圧 ・一人1台端末の活用 ・加速度と力の関係の実験	【知識・技能】 ・力のつり合いに関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 ・運動の法則、運動方程式について理解し、知識として身に付けている。 ・加速度と力の関係に関する観察、実験を行い、それらに関する技能を習得し、それらの測定結果から運動方程式について考察できる。 ・水平上や斜面上の運動、摩擦力や水圧、大気圧について理解し、知識として身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・力のつり合い、運動方程式を作図を用いて水平面上や斜面上の運動を推論できる。 ・力のつり合い、運動方程式について論理的、総合的に判断できる。 摩擦力や水圧、大気圧を力のつり合いや運動方程式に関連づけて論理的、総合的に判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・力と運動の法則に関心を持ち、運動方程式などを探究しようとしている。 ・力につり合いについて、向きと大きさに関連付けて探究しようとする。	○	○	○	15
定期考査			○	○		1	

2 学期	<p>2章 エネルギー 1節 運動とエネルギー</p> <ul style="list-style-type: none"> 仕事の定義を理解する。 仕事率について知る。 運動エネルギーや位置エネルギーを学び、力学的エネルギーが保存することを理解する。 弾性エネルギーについて学習する。 振り子の運動について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 仕事 運動エネルギーと位置エネルギー 力学的エネルギーとその保存 <ul style="list-style-type: none"> 一人1台端末の活用 力学的エネルギーの実験 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 仕事に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。 運動エネルギー、位置エネルギーについて理解し、知識として身につけている。 力学的エネルギーに関する観察、実験を行い、それらに関する技能を習得し、それらの測定結果から力学的エネルギーの保存について考察できる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 力学的エネルギーを図を用いて速さや高さを推論できる。 力学的エネルギーの保存について論理的、総合的に判断できる。 <p>仕事をエネルギーに関連づけて論理的、総合的に判断できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 力学的エネルギーに関心をもち、運動エネルギーや位置エネルギーなどを探究しようとしている。 仕事について、仕事率に関連付けて探究しようとする。 	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	<p>2章 エネルギー 2節 熱</p> <ul style="list-style-type: none"> 熱現象は原子・分子の乱雑な運動である熱運動によって引き起こされていることを理解する。 物質の三態には熱の出入りが伴うことを学ぶ。 熱容量や比熱について学習する。 熱力学第一法則を理解する。 熱現象の不可逆性から熱力学第二法則を理解し、熱機関や熱効率についても学習する。 <p>3章 波 1節 波とは何か</p> <ul style="list-style-type: none"> 波の性質について理解する。 振動と周期の関係や波の速さの式を学習する。 横波と縦波の違いや重ね合わせの原理について知る。 <p>2節 音波</p> <ul style="list-style-type: none"> 音波の速さやうなりについて学習する。 	<ul style="list-style-type: none"> 熱と温度 熱の利用 波の性質 音と振動 一人1台端末の活用 熱と温度の実験 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 熱に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。 熱の利用について理解し、知識を身につけている。 波の性質に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識として身につけている。 音と振動について理解し、知識を身につけている。 熱と温度に関する観察、実験を行い、それらに関する技能を習得し、それらの測定結果から熱量の保存について考察できる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 波の性質を図を用いて速さや周期、振動数を推論できる。 熱量の保存について論理的、総合的に判断できる。 <p>音を波と関連づけて論理的、総合的に判断できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 熱に関心をもち、熱量の保存や熱力学第一法則などを探究しようとしている。 音について、波に関連付けて探究しようとする。 	○	○	○	14
定期考査			○	○		1	

3 学 期	<p>4章 電気</p> <p>1節 物質と電流</p> <ul style="list-style-type: none"> 自由電子が電流を担うことを知り、電圧や抵抗の関係についてオームの法則を学習する。 直列や並列の場合の合成抵抗を求め、物質の長さや断面積と抵抗率の関係を学習する。 抵抗のある導線を流れる電流はジュール熱が発生することを知り、ジュールの法則を学習する。また電力量や消費電力についても学習する。 <p>2節 磁場と電流</p> <ul style="list-style-type: none"> 磁石や電流の周りに磁界や磁力線が発生すること理解する。 電流は磁界を発生させることを知り、電磁誘導や誘導起電力、誘導電流について学習する。 交流と直流の違いを知り、交流は電磁誘導を利用した変圧器で電圧を変換できることを学習する。またその際にコイルの巻き数比が電圧非に等しいことも理解する。 電磁波は電場と磁場の振動現象であることを知り、その速さは光速で一定であることを学習する。また波長（周波数）によって電磁波は固有の名称がつけられており、身の回りのさまざまな場面で役に立っていることを知る。 <p>5章 物理と社会</p> <p>1節 エネルギーとその利用</p> <ul style="list-style-type: none"> 力学的エネルギーや電気エネルギー、熱エネルギー、光エネルギー、化学エネルギー、核エネルギーなどのさまざまなエネルギーの形態について知り、それらのエネルギーは変換できることやエネルギーは保存することを学習する。 	<ul style="list-style-type: none"> 電流と電気抵抗 交流と電磁波 さまざまなエネルギー エネルギーの利用 一人1台端末の利用 オームの法則の実験 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 電気に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。 オームの法則について理解し、知識を身につけている。 磁気に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識として身につけている。 交流について理解し、知識を身につけている。 様々なエネルギーに関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識として身につけている。 オームの法則に関する観察、実験を行い、それらに関する技能を習得し、それらの測定結果からオームの法則について考察できる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> オームの法則や電気回路を図を用いて電流や電圧、抵抗を推論できる。 交流について論理的、総合的に判断できる。 様々なエネルギーを社会と関連づけて論理的、総合的に判断できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 電磁気に関心をもち、オームの法則やフレミングの左手の法則、右ねじの法則などを探究しようとしている。 エネルギーについて、社会に関連付けて探究しようとする。 	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1

年間授業計画

板橋有徳 高等学校 令和7年度 (23年次共修) 教科

理科 科目 物理入門

教科: 理科 科目: 物理入門

単位数: 2 単位

対象学年組: 第2年次 第3年次

教科担当者: (2・3年次: 富樫 孝介 (印))

使用教科書: (文英堂 シグマベスト 高校これでわかる物理)

教科 理科 の目標:

【知識及び技能】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、現象などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 物理入門 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
様々な物理量について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 また、様々な物理学に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能の基礎を身に付けている。	様々な物理学に関する自然現象や科学現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	日常生活や社会との関連を図りながら物理学について関心を持ち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 1章 物体の運動 1節 さまざまな運動 【知識及び技能】 ・運動の表し方をベクトルで理解する。 ・斜めのを合成速度、相対速度について知る。 ・水平投射を学ぶ。 ・斜方投射を学習する。 ・空気の抵抗力を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・合成速度、相対速度をベクトルを用いて理解する。 ・水平投射、斜方投射を水平方向、鉛直方向に分けて理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 問題演習を通じ、理解を深め、グラフや表を積極的に利用する。	・合成速度、 ・相対速度 ・一人1台端末の活用 ・落体の運動 ・空気抵抗	【知識・技能】 ・運動の表し方に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 ・物体の運動についてベクトルを利用して理解し、知識として身に付けている。 ・合成速度、装置速度に関して観察を行い、それらに関する技能を習得し、それらの観察結果から合成速度、相対速度について考察できる。 ・落体の運動を理解し、知識として身に付けている。 ・空気抵抗を理解し、知識として身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・物体の運動をベクトルを用いて速さや向きとの関係を推論できる。 水平投射、斜方投射を水平方向、鉛直方向に関連づけて論理的、総合的に判断できる。 空気抵抗を運動方程式と関連づけて論理的、総合的に判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・物体の運動に関心を持ち、合成速度や相対速度、落体の運動などを探究しようとしている。 ・合成速度、相対速度について、ベクトルと関連付けて探究しようとする。	○	○	○	13
	小テスト			○	○		1
	B 1章 物体の運動 2節 力と運動の法則 【知識及び技能】 ・力のモーメントの基本公式を使う。 ・回転運動について学習する。 ・力のモーメントのつりあいを理解する。 ・重心を学ぶ。 ・運動量と力積について知る。 ・運動量保存の法則について学習する。 ・運動量と力積の関係について理解する。 ・反発係数について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 力のモーメントを回転の向きや合力、力のつりあいとあわせて考えて理解することができる。 ・重心を力のモーメントとして考えて理解することができる。 ・運動量を反発係数と力学的エネルギーとの関係について考えて理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 問題演習を通じ、理解を深め、グラフや表、図を積極的に利用する。	・力のモーメント ・重心 ・運動量 ・力積 ・運動量保存 ・反発係数 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・力のモーメントに関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 ・回転運動について理解し、知識として身に付けている。 ・力のモーメントと力につりあいの関係に関する観察、実験を行い、それらに関する技能を習得する。 ・重心、運動量、力積、運動量、反発係数について理解し、知識として身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・力のつり合い、力のモーメントを作図を用いて水平面上や斜面上の運動を推論できる。 ・力のつり合い、力のモーメントについて論理的、総合的に判断できる。 ・重心、運動量、力積、運動量、反発係数に関連づけて論理的、総合的に判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・力のモーメント、重心、運動量、力積、運動量、反発係数に関心を持ち、探究しようとしている。 ・力につり合い、力のモーメントについて、向きと大きさに関連付けて探究しようとする。	○	○	○	15
定期考査				○	○		1

	<p>A 1章 物体の運動 1節 さまざまな運動</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動の表し方をベクトルで理解する。 斜めの合成速度、相対速度について知る。 水平投射を学ぶ。 斜方投射を学習する。 空気の抵抗力を理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 合成速度、相対速度をベクトルを用いて理解する。 水平投射、斜方投射を水平方向、鉛直方向に分けて理解する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>問題演習を通じ、理解を深め、グラフや表を積極的に利用する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 合成速度、相対速度 <p>・一人1台端末の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 落体の運動 空気抵抗 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動の表し方に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。 物体の運動についてベクトルを利用して理解し、知識として身につけている。 合成速度、装置速度に関して観察を行い、それらに関する技能を習得し、それらの観察結果から合成速度、相対速度について考察できる。 落体の運動を理解し、知識として身につけている。 空気抵抗を理解し、知識として身につけている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 物体の運動をベクトルを用いて速さや向きを推論できる。 <p>水平投射、斜方投射を水平方向、鉛直方向に関連づけて論理的、総合的に判断できる。</p> <p>空気抵抗を運動方程式と関連づけて論理的、総合的に判断できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 物体の運動に関心をもち、合成速度や相対速度、落体の運動などを探究しようとしている。 合成速度、相対速度について、ベクトルと関連付けて探究しようとする。 	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
2 学 期	<p>B 1章 物体の運動 2節 力と運動の法則</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 力のモーメントの基本公式を使う。 回転運動について学習する。 力のモーメントのつりあいを理解する。 重心を学ぶ。 運動量と力積について知る。 運動量保存の法則について学習する。 運動量と力積の関係について理解する。 反発係数について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>力のモーメントを回転の向きや合力、力のつりあいとあわせて考えて理解することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 重心を力のモーメントとして考えて理解することができる。 運動量を反発係数と力学的エネルギーとの関係について考えて理解することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>問題演習を通じ、理解を深め、グラフや表、図を積極的に利用する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 力のモーメント 重心 運動量 力積 運動量保存 反発係数 <p>・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 力のモーメントに関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。 回転運動について理解し、知識として身につけている。 力のモーメントと力につりあいの関係に関する観察、実験を行い、それらに関する技能を習得する。 重心、運動量、力積、運動量、反発係数について理解し、知識として身につけている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 力のつり合い、力のモーメントを作図を用いて水平面上や斜面上の運動を推論できる。 力のつり合い、力のモーメントについて論理的、総合的に判断できる。 重心、運動量、力積、運動量、反発係数に関連づけて論理的、総合的に判断できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 力のモーメント、重心、運動量、力積、運動量、反発係数に関心をもち、探究しようとしている。 力につり合い、力のモーメントについて、向きと大きさに関連付けて探究しようとする。 	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1

3 学期	<p>B 1章 物体の運動 2節 力と運動の法則</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・力のモーメントの基本公式を使う。 ・回転運動について学習する。 ・力のモーメントのつりあいを理解する。 ・重心を学ぶ。 ・運動量と力積について知る。 ・運動量保存の法則について学習する。 ・運動量と力積の関係について理解する。 ・反発係数について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>力のモーメントを回転の向きや合力、力のつりあいとあわせて考えて理解することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重心を力のモーメントとして考えて理解することができる。 ・運動量を反発係数と力学的エネルギーとの関係について考えて理解することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>問題演習を通じ、理解を深め、グラフや表、図を積極的に利用する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・力のモーメント <ul style="list-style-type: none"> ・重心 ・運動量 ・力積 ・運動量保存 ・反発係数 ・一人1台端末の活用 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・力のモーメントに関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。 ・回転運動について理解し、知識として身につけている。 ・力のモーメントと力につりあいの関係に関する観察、実験を行い、それらに関する技能を習得する。 ・重心、運動量、力積、運動量、反発係数について理解し、知識として身につけている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・力のつり合い、力のモーメントを作図を用いて水平面上や斜面上の運動を推論できる。 ・力のつり合い、力のモーメントについて論理的、総合的に判断できる。 ・重心、運動量、力積、運動量、反発係数に関連づけて論理的、総合的に判断できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・力のモーメント、重心、運動量、力積、運動量、反発係数に関心を持ち、探究しようとしている。 ・力につり合い、力のモーメントについて、向きと大きさに関連付けて探究しようとする。 	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1

年間授業計画

板橋有徳 高等学校 令和7年度（2年次用）教科

理科

科目 化学入門

教科：理科

科目：化学入門

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 年次 選択科目

教科担当者：谷川

使用教科書：（実教出版 化学基礎academia 化学academia）

教科 理科

の目標：

【知識及び技能】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、現象などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学入門

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
化学的な事物・現象についての観察、実験などを行うことを通して、化学の基本的な概念や原理・法則の理解を図るとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身につけている。	化学的な事物・現象を対象に、探究の過程を通して、情報の収集、仮設の設定、実験の計画、実験による検証、実験データの分析・解釈などの探究の方法を習得している。	化学的な事物・現象に対して主体的に関わり、それらに対する気づきから課題を設定し解決しようとする態度など、科学的に探究しようとする態度を身につけている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	酸化還元反応	酸化・還元の定義を理解し、酸化還元反応が電子の授受によることを理解する。 酸化剤と還元剤の反応と酸化還元反応の起こりやすさの関係を理解し、それらの共通性を意欲的に探究する。	・さまざまな観察、実験を通し、酸化・還元反応の定義と酸化数の定義の有効性を理解し、共通性を見だし、酸化還元反応として論理的に考察できる。 ・身近にあるものから酸化還元反応との関連性を見だし、論理的に考察し、科学的に判断できる。	○	○	○	4
	電池・電気分解	外部から加えられた電気エネルギーによって、電極で酸化還元反応が起こることを理解する。 その反応に関与した変化量と電気量との関係を理解する。 電池は酸化還元反応によって電気エネルギーを取り出すしくみであることを理解する。	・外部から加えた電気エネルギーによって、電極で酸化還元反応が起こること、また、その反応に関与した物質の変化量と電気量との関係を理解している。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	電池・電気分解	その反応に関与した変化量と電気量との関係を理解する。 電池は酸化還元反応によって電気エネルギーを取り出すしくみであることを理解する。	・化学電池のしくみについて理解している。 ・鉛蓄電池、燃料電池などについて、電極での反応を理解している。	○	○	○	4
	有機化合物とその構造 脂肪族炭化水素	有機化合物の性質や反応を観察、実験などを通して探究し、有機化合物の分類と特徴を理解する。 脂肪族炭化水素の性質や反応を構造と関連して理解する。	・炭化水素の分類とその反応性の関係や構造異性体の関係を理解している。 ・有機化合物の成分元素の確認や組成式・分子式・構造式の決定について理解している。 ・脂肪族化合物の性質や反応性について、日常生活に関連させて理解している。 ・	○	○	○	4
定期考査			○	○		1	
2 学期	有機化合物とその構造 脂肪族炭化水素	有機化合物の性質や反応を観察、実験などを通して探究し、有機化合物の分類と特徴を理解する。 脂肪族炭化水素の性質や反応を構造と関連して理解する。	・炭化水素、官能基をもつ有機化合物の性質や反応性が構造に特徴づけられることを見出し、構造異性体、鏡像異性体などを論理的に考察し、説明することができる。 ・構造式によって、その化合物の性質や反応性について推論することができる。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	有機化合物とその構造 酸素を含む脂肪族化合物 窒素を含む化合物	アルコール、ケトン、アルデヒド、カルボン酸などの性質や反応を構造と関連して理解する。	・アルコール、ケトン、アルデヒド、カルボン酸などの構造を理解し、性質と関連付けられる。 ・それらの性質から、用途を推測できる。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1

3 学期	有機化合物とその構造 芳香族化合物	芳香族化合物の構造、性質および反応について理解する。 有機化合物が、その特徴を生かして人間生活の中で利用されていることを理解する。 有機化合物の性質と利用に関して探究活動を行い、理解を深めるとともに化学的に探究する能力を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ・ベンゼン、置換基をもつ芳香族化合物の性質や反応性が構造に特徴づけられることを見出し、異性体、配向性などを論理的に考察し、説明することができる。 ・構造式によって、その化合物の性質や反応性について推論することができる。 ・芳香族化合物に関する性質や反応に関する事物・現象に関心を持ち、その構造と性質や反応性の関係について意欲的に探究しようとする。 ・芳香族化合物について観察、実験を行うとともに、それらを日常生活と関連させて探究しようとする。 	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1

年間授業計画

板橋有徳 高等学校 令和7年度(2年次用) 教科

理科

科目 生物入門

教科: 理科

科目: 生物入門

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 2 年次 1 組 ~ 5 組

教科担当者: (1-3組: 真柳) (4-5組: 池田)

使用教科書: (高等学校 生物)

教科 理科

の目標:

【知識及び技能】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、現象などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物入門

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を養う。生物学的に探究する能力を身につける。	目的意識をもって観察、実験や、実験のデータなどの分析を行う力を身につける。	生物や生物現象に対する探究心を高め、生物学的に探究する態度を身につける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	生態系における物質生産とエネルギー効率について学ぶとともに、生態系における生物多様性に影響を与える要因を理解し、生物多様性の重要性を認識する。	第5部 生態と環境 第14章 生態系(8) 第1節 生態系と物質生産 第2節 生態系と生物多様性	【知識・技能】 生産者による物質生産によって生態系内の生物に有機物やエネルギーが供給されることを理解する。生態系では食物連鎖を通じて物質が循環し、エネルギーが移動していることを理解する。生態系や生物多様性の保全の重要性を理解する。人間活動が生態系に与える影響の例として、窒素排出量の増加や生息地の分断化などがあることを理解する。 【思考・判断・表現】 現存量当たりの純生産量の生態系ごとの違いについて、その生態系を構成する生産者の生産構造と関連づけて説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生態系の物質生産と物質循環に関心を持ち、主体的に学習に取り組める。生態系と人間生活に関心を持ち、主体的に学習に取り組める。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	生物の生活に影響を及ぼしている環境と生物との関係について理解する。同種の個体や異種の個体が相互作用を及ぼし合っていることを理解する。また、個体群レベルから順にそれぞれの段階で繰り広げられる生物の様々な営みと、環境との関係について理解する。	第5部 生態と環境 第13章 個体群と生物群集(9) 第1節 個体群とその変動 第2節 種内関係 第3節 種間関係	【知識・技能】 個体群の成長には個体群密度が関係していることを理解する。個体群の個体数の変化には、その個体群の年齢構成や年齢ごとの死亡率などが影響することを理解する。個体群内で見られる個体どうしの社会的な関係とその利益を理解する。生態的地位(ニッチ)の概念を理解する。生態系内で多種の共存を可能にしているしくみを理解する。 【思考・判断・表現】 与えられた条件をもとに、個体群の個体数を推定することができる。生存曲線のそれぞれの型が有利になる生息環境について、その生物がおかれている状況と年齢ごとの死亡率を関連させて推測し、説明することができる。最適な群れの大きさを決める要因を理解し、群れのおかれた環境に応じて時間の配分率のグラフがどのように変化するかを説明することができる。3種のゾウリムシのなかまの飼育時の個体群密度の変化の資料に基づいて、生活上の要求の違いによって異種の個体群が共存できていることを見いだすことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 個体群の構造と性質に関心を持ち、主体的に学習に取り組める。個体群内の個体間に関心を持ち、主体的に学習に取り組める。異なる種の個体群間に関心を持ち、主体的に学習に取り組める。	○	○	○	9
定期考査				○	○		1

2 学期	減数分裂による遺伝子の分配と受精により、遺伝的に多様な組み合わせをもつ子が生じることを理解するとともに、遺伝子の連鎖と組換えについても理解する。	第1部 生物の進化 第2章 有性生殖と遺伝的多様性(7) 第1節 有性生殖 第2節 遺伝子の多様な組み合わせ	【知識・技能】 生物の形質の変化が、突然変異によって生じることを理解する。突然変異が遺伝的な多様性をもたらすことを理解する。 【思考・判断・表現】 遺伝子の変化と形質の変化を示した資料を比較し、遺伝子が変わると、遺伝子をもとにつくられるタンパク質が変化し、その結果形質が変化することを見いだすことができる。無性生殖の場合、親と子で遺伝子の組み合わせがどうなるのかを考え、説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝子の変化と多様性に関心をもち、主体的に学習に取り組める。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	配偶子形成と受精、卵割から器官分化の始まりまでの過程について学ぶとともに、細胞の分化と形態形成のしくみを理解する。	第3部 遺伝情報の発現と発生 第8章 発生と遺伝子の発現(13) 第1節 動物の配偶子形成と受精 第2節 初期発生の過程 第3節 発生と遺伝子の発現	【知識・技能】 発生の過程で、遺伝子の発現調節によって細胞が分化するしくみを理解する。 【思考・判断・表現】 同じ遺伝情報をもつ細胞が異なる細胞に分化する要因として、細胞質に含まれる物質が分裂の際に不均等に分配されることや、周囲の細胞からの誘導があることを理解し、説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 発生と遺伝子発現に関心をもち、主体的に学習に取り組める。	○	○	○	13
定期考査			○	○		1	
3 学期	植物の配偶子形成と受精、胚発生と種子の形成、花器官の分化について学ぶ。 植物が周りの環境からの刺激に応答するしくみを学び、その際に植物ホルモンや光受容体が関係することを理解する。	第4部 生物の環境応答 第12章 植物の環境応答(12) 第1節 植物の発芽と発生 第2節 発芽と成長	【知識・技能】 被子植物の配偶子形成と受精のしくみを理解する。 【思考・判断・表現】 裸子植物と比較して、被子植物が行う重複受精にはどのような利点があるのかを考え、説明することができる。胚の中の各細胞の有無と花粉管誘引に関する実験結果をもとに、被子植物の受精で花粉管が胚のうへと誘引されるしくみについて考え、説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 配偶子形成と受精に関心をもち、主体的に学習に取り組める。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1

年間授業計画 新様式例

板橋有徳 高等学校 令和7年度（2年次用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～5組

教科担当者：（1・2組：3・4組：5組：浅野結香◎、小久保優◎、小森悠希◎、本村雄◎ 長野瑞央◎）

使用教科書：（新高等保健体育（大修館書店））

教科 保健体育 の目標： 体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標： 体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
球技（アルティメット）男女共習 選択制 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。ゴール型では、安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話し合いに貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。	・指導事項 キャッチボール 捕球 送球 ルール理解 フォアハンドスロー バックハンドスロー チーム練習 試合 技能テスト ・一人一台端末の映像による自分の動作確認 等	【知識・技能】 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。ゴール型では、安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。 【思考・判断・表現】 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話し合いに貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	8
球技（バドミントン）女子 男女共習 選択制 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話し合いに貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。	・指導事項 各種フライング ルール理解 戦術理解 チーム練習 試合 技能テスト ・一人一台端末の活用 フライングの打ち方の確認振り返り等	【知識・技能】 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 【思考・判断・表現】 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話し合いに貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	8

<p>球技（テニス）女子 男女共習 選択制</p> <p>【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 ストローク サーブ ボレー ルール理解 戦術理解 試合 技能テスト 一人1台端末の活用 打ち方の確認振り返り等</p>	<p>【知識・技能】 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	8
<p>球技（ソフトボール）女子 別習</p> <p>【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。ベースボール型では、安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 キャッチボール 捕球 送球 ルール理解 トスバッティング シートバッティング 試合 技能テスト 一人1台端末の活用 打ち方の確認振り返り等</p>	<p>【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。ベースボール型では、安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすること。</p> <p>【思考・判断・表現】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○		8
<p>球技（バレーボール）男子</p> <p>【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 アンダーハンドパス オーバーハンドパス 連続パス フローターサーブ アンダーハンドパス 三段攻撃練習 試合 技能テスト 一人1台端末の活用 打ち方の確認振り返り等</p>	<p>【知識・技能】 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	8

<p>水泳 習熟度別</p> <p>【知識及び技能】 次の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐこと。ア クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。イ 平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。ウ 背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐこと。エ バタフライでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐこと。オ 複数の泳法で泳ぐこと、又はリレーをすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする。自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする。水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 けのび クロール 平泳ぎ 呼吸法 ブル・ブッシュ リレー スタート 測定会 技能テスト 一人一台端末の映像による自分の動作確認 等</p>	<p>【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。・クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。・平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。・背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐことができる。・バタフライでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする。自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする。水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	4
<p>球技（ソフトボール）男子 別習</p> <p>【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。ベースボール型では、安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。作戦などについての話し合いに貢献しようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 キャッチボール 捕球 送球 ルール理解 トスバッティング シートバッティング 試合 技能テスト 一人1台端末の活用 打ち方の確認振り返り等</p>	<p>【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。ベースボール型では、安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすること。</p> <p>【思考・判断・表現】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。作戦などについての話し合いに貢献しようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	10
<p>球技（バレーボール）女子 別習</p> <p>【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。作戦などについての話し合いに貢献しようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 アンダーハンドパス オーバーハンドパス 連続パス フローターサーブ アンダーハンドパス 三段攻撃練習 試合 技能テスト 一人1台端末の活用 打ち方の確認振り返り等</p>	<p>【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。作戦などについての話し合いに貢献しようとする。一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする。互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	8

<p>球技（バスケットボール）男女共習 選択制</p> <p>【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。ゴール型では、安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすること</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 シュート パス ドリブル オフェンス ディフェンス 3 on 3 試合 技能テスト 一人1台端末の活用 シュートフォーム等の確認振り返り等</p>	<p>【知識・技能】 【知識・技能】 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。ゴール型では、安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	10
<p>球技（テニス）男女共習 選択制</p> <p>【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 ストローク サービス ボール ルール理解 戦術理解 試合 技能テスト 一人1台端末の活用 打ち方の確認振り返り等</p>	<p>【知識・技能】 【知識・技能】 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	10
<p>球技（卓球）男女共習 選択制</p> <p>【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 ストローク サービス ボール ルール理解 戦術理解 試合 技能テスト 一人1台端末の活用 打ち方の確認振り返り等</p>	<p>【知識・技能】 【知識・技能】 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	10
<p>水泳 習熟度別</p> <p>【知識及び技能】 次の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐこと。ア クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。イ 平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。ウ 背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐこと。エ バタフライでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐこと。オ 複数の泳法で泳ぐこと、又はリレーをすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保すること。</p>	<p>・指導事項 けのび クロール 平泳ぎ 呼吸法 ブル・プッシュ リレー スタート 測定会 技能テスト 一人一台端末の映像による自分の動作確認 等</p>	<p>【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。・クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。</p> <p>・平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。</p> <p>・背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐことができる。・バタフライでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	8

<p>体づくり運動 【知識及び技能】 次の運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むこと。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話し合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>基礎事項 体ほぐしの運動 体力を高める運動</p>	<p>【知識・技能】 運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話し合いに貢献しようとするなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	6
<p>陸上競技(長距離走) 男女 【知識及び技能】 次の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。短距離走・リレーでは、中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることやバトンの受渡して次走者のスピードを十分高めること、長距離走では、自己に適したペースを維持して走ること、ハードル走では、スピードを維持した走りからハードルを低く越すこと。 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>指導事項 長距離走 スタート 中間疾走 フィニッシュ 時間走 周回走 測定</p>	<p>【知識・技能】 ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。長距離走では、自己に適したペースを維持して走ることができる。 【思考・判断・表現】 ・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	(11)
<p>3 学期 体育理論 【知識及び技能】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むこと。</p>	<p>基礎事項 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展 (ア) スポーツの歴史的発展と多様な変化 (イ) 現代のスポーツの意義や価値 (ウ) スポーツの経済的効果と高潔さ (エ) スポーツが環境や社会にもたらす影響</p>	<p>【知識】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。 【思考・判断・表現】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	8 合計 70

年間授業計画

高等学校 令和7年度 教科

保健体育 科目 保健

教科：保健体育

科目：保健

単位数：1 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 5 組

教科担当者：（1組：小久保）（2組：小久保）（3組：浅野）（4組：浅野）（5組：小久保）

使用教科書：（新高等保健体育（大修館/保体702））

教科 保健体育 の目標： 体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標： 保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第3章 生涯を通じる健康 【知識及び技能】 ・生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることを理解している。 ・労働災害の防止には、労働環境の変化に起因する傷害や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び安全管理をする必要があることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 【主体的に取り組む態度】	1・思春期と健康	【知識及び技能】 ①思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることを理解している。 ②結婚生活について、心身の発達や健康の保持増進の観点から受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題について理解している。また、家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについても理解している。 ③中高年期には健康診断の定期的な受診などの自己管理・生きがいをもつ・運動やスポーツに取り組む・家族や友人などとの良好な関係を保つ・地域における交流をもつことが健康やかに過ごすために必要であることを理解している。 【思考・判断・表現】 ①思春期における心身の発達や健康課題について自他や社会の課題を発見している。 ②結婚生活について、心身の発達や健康の保持増進について自他や社会の課題を発見している。 ③中高年期の健康課題について自他や社会の課題を発見している。 【主体的に取り組む態度】 ①学習に関心をもち、主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	11
	2・性意識の変化と性行動の選択					
	3・結婚生活と健康					
	4・妊娠・出産と健康					
	5・家族計画					
	6・加齢と健康					
	7・高齢社会に対応した取り組み 定期考査					

2 学期	・生涯を通じる健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。	8・働くことと健康	【知識及び技能】 ①労働による傷害や職業病などの労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴い質や量に変化してきたことを理解している。また、労働災害を防止するには、作業形態や作業環境の改善、長時間労働をはじめとする過重労働の防止を含む健康管理と安全管理が必要であることを理解している。また、働く人の健康の保持増進は、職場の健康管理や安全管理とともに、心身両面にわたる総合的、積極的な対策の推進が図られることで成り立つことを理解している。 ②人間の生活や産業活動は、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などの自然環境汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあるということについて理解している。 ④健康への影響や被害を防止するためには、汚染物質の排出をできるだけ抑制したり、排出された汚染物質を適切に処理したりすることなどが必要であることについて理解している。 ③上下水道の整備、ごみやし尿などの廃棄物を適切に処理する等の環境衛生活動は、自然環境や学校・地域などの社会生活における環境、及び人々の健康を守るために行われていることについて理解している。 ④人々の健康を支えるためには、食品の安全性を確保することが重要であり、食品の安全性が損なわれると、健康に深刻な被害をもたらすことがあり、食品の安全性を確保することは健康の保持増進にとって重要であることについて理解している。また、食品の安全性を確保するために、食品衛生法などの法律等が制定されており、様々な基準に基づいて食品衛生活動が行われていることや、食品の製造・加工・保存・流通など、各段階での適切な管理が重要であることについて理解している。 【思考・判断・表現】 ①健康を支える環境づくりに関わる情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な整備や活用方法を選択し、それらを説明している。 【主体的に取り組む態度】 ①学習に関心をもち、主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	13	
		9・労働災害の防止						
		10・働く人の健康づくり						
	4章 健康を支える健康づくり	【知識及び技能】 環境の汚染と健康、環境と健康に関わる対策、環境衛生に関わる活動について、理解している。 【思考・判断・表現】 健康を支える環境づくりに関わる情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な整備や活用方法を選択し、それらを説明することができるようにする。 【主体的に取り組む態度】 健康を支える健康づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。	1・大気汚染と健康	【知識及び技能】 ①我が国には、人々の健康を支えるための保健・医療制度が存在し、行政及びその他の機関などから健康に関する情報、医療の供給、医療費の保障も含めた保健・医療サービスなどが提供されていることについて理解している。 ②健康を保持増進するためには、検診などを通して自己の健康上の課題を的確に把握し、地域の保健所や保健センターなどの保健機関、病院や診療所などの医療機関、及び保健・医療サービスなどを適切に活用していくことなどが必要であることについて理解している。 ③我が国や世界では、健康を支えるために、健康課題に対応して各種の保健活動や社会的対策が行われていることについて理解している。 【思考・判断・表現】 ①健康を支える環境づくりに関わる情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な整備や活用方法を選択し、それらを説明することができる。 【主体的に取り組む態度】 ①学習に関心をもち、主体的に取り組もうとする。	○	○	○	11
			2・水質汚濁・土壌汚染と健康					
			3・健康被害を防ぐための環境対策					
4・環境衛生に関わる活動								
5・食品の安全性と健康								
6・食品の安全性を確保する取り組み 定期考査								
3 学期	7・保健制度とその活用 8・医療制度とその活用 9・医薬品の制度とその活用 10・様々な保健活動や対策 11・誰もが健康に過ごせる社会に向けた環境づくり 定期考査	7・保健制度とその活用	【知識及び技能】 ①我が国には、人々の健康を支えるための保健・医療制度が存在し、行政及びその他の機関などから健康に関する情報、医療の供給、医療費の保障も含めた保健・医療サービスなどが提供されていることについて理解している。 ②健康を保持増進するためには、検診などを通して自己の健康上の課題を的確に把握し、地域の保健所や保健センターなどの保健機関、病院や診療所などの医療機関、及び保健・医療サービスなどを適切に活用していくことなどが必要であることについて理解している。 ③我が国や世界では、健康を支えるために、健康課題に対応して各種の保健活動や社会的対策が行われていることについて理解している。 【思考・判断・表現】 ①健康を支える環境づくりに関わる情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な整備や活用方法を選択し、それらを説明することができる。 【主体的に取り組む態度】 ①学習に関心をもち、主体的に取り組もうとする。	○	○	○	合計 35	
		8・医療制度とその活用						
		9・医薬品の制度とその活用						
		10・様々な保健活動や対策						
		11・誰もが健康に過ごせる社会に向けた環境づくり						
		定期考査						

年間授業計画

板橋有徳 高等学校 令和7年度（2年次用） 教科 芸術 科目 音楽Ⅱ

教科： 芸術 科目： 音楽Ⅱ 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 5 組

教科担当者： （1～5組： 林）

使用教科書： （音楽Ⅱ Tutti+ ）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や、文化的・歴史的背景等と関わり及び本学の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。	自己のイメージを持って音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながら、良さや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的、共同的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに感性を高め、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		歌	器	創	鑑賞					
<p>オリエンテーション ークラスの歌声を響かせようー 【知識及び技能】音楽Ⅱの学習目標や学習計画を確認する。 【思考力、判断力、表現力等】J-POPの歌から歌詞の内容や作詞者・作曲者のメッセージを考える。 【学びに向かう力、人間性等】二部合唱、三部合唱で、音楽Ⅱの学習意欲を養う。</p>	<p>○Smile ○Pretender ○Tomorrow ○島唄 ○見上げてごらん夜の星を ◆さあ、音楽Ⅱの扉を開こう（自作） ◆Review of Basics① 音の名前 ◆Review of Basics② 音楽の速さを表そう ◆口絵⑤ 音楽と関わるさまざまな仕事</p>	○				○				6
<p>ー混声合唱を美しく響かせようー 【知識及び技能】他者との調和を意識して歌いながら混声合唱の豊かな響きを味わう。 【思考力、判断力、表現力等】曲想が作品の作られた背景や作り手の思いによってもたらされていることを理解しながら個性豊かに歌唱表現を創意工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】個性豊かに歌唱表現を創意工夫することに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。</p>	<p>○あなたへ ○手紙 ○正解</p>	○				○				10
<p>器楽アンサンブルの楽しみ ーミュージックパル曲を通してー 【知識及び技能】ミュージックパルの奏法を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】技能の習熟度に応じた楽曲の音楽表現を創意工夫しながらアンサンブル活動の楽しさを味わう。 【学びに向かう力、人間性等】主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。</p>	○					○				10

年間授業計画

板橋有徳 高等学校 令和7年度(2年次用) 教科

芸術 科目 美術Ⅱ

教科: 芸術

科目: 美術Ⅱ

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 23 学年 1 組 ~ 5 組

教科担当者: (23年1~5組: 山本一博)

使用教科書: (美術2 光村図書)

教科 芸術

の目標:

【知識及び技能】 芸術に関する特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに感性を高め心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い豊かな情操を培う。

科目 美術Ⅱ

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値感を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現				鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		絵 ・ 彫	デ	映							
1 学 期	A 単元 彫塑(張り子のお面の高の動物の顔を制作する) 【知識及び技能】 彫像の基本的な表現技法を学び、彫刻の空間構成などを理解し、道具、素材など正しく安全な使い方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 感性や想像力を働かせて、彫刻の制作意図に合った表現方法を創意工夫し、表現を構想するのに必要な技能を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に彫刻制作に取り組み、表現と鑑賞を一体的に取り扱い制作意図を理解し感受性を高める。	・指導事項 油粘土を使い動物の顔を制作する。 ・教材 油粘土、粘土版、粘土べら、等	○				【知識・技能】 彫刻の空間を構成する様々な要素を考え理解し、主題に合った表現方法を工夫しながら個性豊かで創造的に表現している。 【思考・判断・表現】 彫刻の質感、空間表現の意図を理解し、彫像の特徴的で有効な表現方法を発想し構想を練り制作する。 【主体的に学習に取り組む態度】 彫刻、彫像の特性や基本的な扱い方を理解し、表現の創造的な諸活動に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	B 単元 工芸(張り子のお面の制作) 【知識及び技能】 張り子の表現技法を学び、配色や構図、構成などを理解し、道具、素材など正しく安全な使い方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 感性や想像力を働かせて、張り子制作の意図に合った表現方法を創意工夫し、表現を構想するのに必要な技能を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に張り子のお面制作に取り組み、表現と鑑賞を一体的に取り扱い制作意図を理解し感受性を高める。	・指導事項 張り子のお面制作 ・教材 古紙、糊、掻き出しべら、ポスターカラー、筆、筆洗、パレット 等	○	○			【知識・技能】 お面を構成する形や色彩、素材など造形の要素を理解し、主題に合った表現方法を工夫しながら個性豊かで創造的に表現している。 【思考・判断・表現】 張り子の表現を理解しながら、張り子の特徴で有効な技法および制作方法を考え構想を練り制作する。 【主体的に学習に取り組む態度】 張り子の特性や基本的な扱い方を理解し、表現の創造的な諸活動に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	14
2 学 期	C 単元 絵画・素描(鉛筆デッサン静物) 【知識及び技能】 素描の表現技法を学び、構図や空間構成などを理解し、道具、素材など正しく安全な使い方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 感性や想像力を働かせて、絵画制作の意図に合った表現方法を創意工夫し、表現を構想するのに必要な技能を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に絵画制作に取り組み、表現と鑑賞を一体的に取り扱い制作意図を理解し感受性を高める。	・指導事項 鉛筆デッサン、静物 ・教材 画用紙、B3パネル、練り消し 等	○	○			【知識・技能】 空間を構成する形体、構図、明暗など素描の要素を理解し、主題に合った表現方法を工夫しながら個性豊かで創造的に表現している。 【思考・判断・表現】 質感、空間表現の意図を理解し、鉛筆素描の特徴的で有効な描き方を発想し構想を練り制作する。 【主体的に学習に取り組む態度】 絵画、素描の特性や基本的な扱い方を理解し、表現の創造的な諸活動に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	14
	D 単元 絵画・素描(石膏デッサン肖像) 【知識及び技能】 素描の表現技法を学び、構図や空間構成などを理解し、道具、素材など正しく安全な使い方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 感性や想像力を働かせて、絵画制作の意図に合った表現方法を創意工夫し、表現を構想するのに必要な技能を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に絵画制作に取り組み、表現と鑑賞を一体的に取り扱い制作意図を理解し感受性を高める。	・指導事項 石膏デッサン、肖像 ・教材 画用紙、木炭紙パネル、練り消し 等	○	○			【知識・技能】 空間を構成する形体、構図、明暗など素描の要素を理解し、主題に合った表現方法を工夫しながら個性豊かで創造的に表現している。 【思考・判断・表現】 質感、空間表現の意図を理解し、鉛筆素描の特徴的で有効な描き方を発想し構想を練り制作する。 【主体的に学習に取り組む態度】 絵画、素描の特性や基本的な扱い方を理解し、表現の創造的な諸活動に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	16
E 単元 絵画・素描(石膏デッサン胸像) 【知識及び技能】 素描の表現技法を学び、構図や空間構成などを理解し、道具、素材など正しく安全な使い方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 感性や想像力を働かせて、絵画制作の意図に合った表現方法を創意工夫し、表現を構想するのに必要な技能を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に絵画制作に取り組み、表現と鑑賞を一体的に取り扱い制作意図を理解し感受性を高める。	・指導事項 石膏デッサン、胸像 ・教材 画用紙、木炭紙パネル、練り消し 等	○	○			【知識・技能】 空間を構成する形体、構図、明暗など素描の要素を理解し、主題に合った表現方法を工夫しながら個性豊かで創造的に表現している。 【思考・判断・表現】 質感、空間表現の意図を理解し、鉛筆素描の特徴的で有効な描き方を発想し構想を練り制作する。 【主体的に学習に取り組む態度】 絵画、素描の特性や基本的な扱い方を理解し、表現の創造的な諸活動に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	16	
											合計
											70

年間授業計画

板橋有徳 高等学校 令和7年度(2年次用) 教科

芸術 科目 工芸Ⅱ

教科: 芸術

科目: 工芸Ⅱ

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 2 学年 1 組～ 5 組

3 学年 1 組～

5 組

教科担当者: (2・3 年次 1～5 組: 大西)

使用教科書: (工芸Ⅱ 日本文教出版)

教科 芸術

の目標:

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を養う。

科目 工芸Ⅱ

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて制作方法を創意工夫し、造形的に表すことができるようになる。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、工芸の働きなどについて考え、思いや願いなどから心豊かに発想し構想を練ったり、価値意識を持って工芸や工芸の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。	主体的に工芸の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり工芸を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、工芸の伝統と文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度が身に付いている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現		鑑賞	評価規準	知	思	態	配当 時数
			身	社						
1 学期	A表現、木目込み鞆の要素を理解できるようにする。布という素材や自己の思いから心豊かな発想ができる。	一人一人セット木目込み鞆	○		○	造形の要素の働きを理解している。自然や素材、自己の思いから心豊かな発想をしている。	○	○	○	6
	A表現、ハーパーオイルの要素を理解できるようにする。素材や自己の思いから心豊かな発想ができる。	ハーパーオイルによるボールペン作り。	○		○	造形の要素の働きを理解している。自然や素材、自己の思いから心豊かな発想をしている。				4
	A表現、ロストワックス技法を基本から学び、理解する。蠟(ロウ)という素材や自己の思いから心豊かな発想ができる。	ロストワックス技法による指輪制作。	○		○	ロストワックス技法を意図に応じて創意工夫し、造形的に表すことができる。ピューターインゴットという素材を理解し表現豊かに構想できたか。				14
2 学期	A表現、ロストワックス技法を基本から学び、理解する。蠟(ロウ)という素材や自己の思いから心豊かな発想ができる。	ロストワックス技法による指輪制作。	○		○	ロストワックス技法を意図に応じて創意工夫し、造形的に表すことができる。ピューターインゴットという素材を理解し表現豊かに構想できたか。				32
3 学期	A表現、藍染めの制作を踏まえて意図に応じて素材そのものの美しさや使う用具を生かすことができる。染色の特性などから心豊かな発想が出来る。	藍染めによるスカーフや巾着袋の制作。	○		○	藍染めという染色技法を意図に応じて創意工夫し、表現できる。布という素材や特性から心豊かな発想をしている。身近な生活と染色工芸の創造活動に取り組みもうとしている。				14
										合計

年間授業計画

板橋有徳 高等学校 令和7年度（2年次用） 教科

芸術

科目 書道Ⅱ

教科：芸術

科目：書道Ⅱ

単位数：2 単位

対象学年組：第2年次

教科担当者：加藤 香蓮

使用教科書：（書道Ⅱ 光村図書）

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道Ⅱ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
題材の意味や古典、背景について理解している。 書道作品として相応しい構成で作品制作ができている。	古典の意味を理解し、書風や構成との関係を考慮した工夫ができている。 意臨を作品に入れ込み、工夫ができている。	作品に対して興味を持って積極的に理解をしようとしている。 自分の言葉で表現し、主体的に学習活動に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現				鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			漢	仮	漢	仮						
1 学 期	1. 書道Ⅰの振り返り	・書道Ⅰで学習した古典を鑑賞し、特徴を確認し、意欲的に制作に取り組む ・五書体を理解しているか確認をする	○	○	○	○	授業への取り組み、態度、授業プリント	○	○	○	○	5
	2. 漢字の学習 篆書の学習 「泰山刻石」 「甲骨文」 「石鼓文」 「小臣觶彝尊」 篆刻の学習	・多彩な篆書の表現を理解し、意欲的に理解する。 ・篆書の多様な表現技法を身につける ・篆書の美やその文化について理解し、美しさを感じ取る。 ・篆刻の歴史や技法をより深く学習する ・刻字の刀法を身につけ、表現を工夫して意欲的に作品制作に取り組む ・姓名印を作成する			○	○	授業への取り組み、態度、授業プリント 表現の工夫 小テスト 作品	○	○	○	○	7
	隷書の学習 「乙瑛碑」 「曹全碑」 「石門頌」	・多彩な隷書の表現を理解し、意欲的に理解する。 ・隷書の多様な表現技法を身につける ・隷書の美やその文化について理解し、美しさを感じ取る。			○	○	授業への取り組み、態度、授業プリント 表現の工夫 小テスト 作品	○	○	○	○	8
	草書の学習 「十七帖」 「書譜」	・多彩な草書の表現を理解し、意欲的に理解する。 ・草書の多様な表現技法を身につける ・草書の美やその文化について理解し、美しさを感じ取る。			○	○	授業への取り組み、態度、授業プリント 表現の工夫 小テスト 作品	○	○	○	○	6
2 学 期	行書の学習 「集王聖教序」 「温泉銘」 「北宋の三大家」	・多彩な行書の表現を理解し、意欲的に理解する。 ・行書の多様な表現技法を身につける ・行書の美やその文化について理解し、美しさを感じ取る。 北宋時代に活躍した三大家の行書作品を比較・鑑賞をし、作品制作に取り組む			○	○	授業への取り組み、態度、授業プリント 表現の工夫 小テスト 作品	○	○	○	○	14
	楷書の学習 「薦季直表」 「龔宝子碑」 「始平公造像記」 「張猛龍碑」 「孟法師碑」 「樂毅論」	・多彩な楷書の表現を理解し、意欲的に理解する。 ・楷書の多様な表現技法を身につける ・楷書の美やその文化について理解し、美しさを感じ取る。			○	○	授業への取り組み、態度、授業プリント 表現の工夫 小テスト 作品	○	○	○	○	14

年間授業計画

高等学校 令和7年度（2・3年次用） 教科 芸術 科目 実用書道

教科：芸術

科目：実用書道

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年

教科担当者：加藤 香蓮

使用教科書：（くらしのペン習字）

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 実用書道

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
文字の形や配置などを考え美しく綺麗に文字を書き、表現することができる。場面に応じて相応しい表現ができる。	実際の使用場面や目的に応じて相応しい判断ができる。書道技術を日常生活で活用し、実用的な書き方を身につけることができる。	生活と書の繋がりを考え、表現し適切な判断ができる。自己表現の力を養い、他者との交流や自己理解を深めることができる

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現				鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			漢	仮	漢	仮						
1 学 期	1. 硬筆練習(楷書)	・楷書体のひらがな、カタカナを学び、文字の字形や配置、バランスなどを理解する。 ・楷書の漢字を点画から書き順などを見直し、正しい書き方を学習する。	○	○	○	○	授業への取り組み、態度、授業プリント テキスト	○	○	○	○	4
	2. 硬筆練習(行書)	・行書体のひらがな、カタカナを学び、文字の字形や配置、バランスなどを理解する。 ・行書体の漢字を点画から書き順などを見直し、正しい書き方を学習する。 ・楷書体と行書体を使い分け、用途に合う文字を理解する 実用でも使用される草書問題を学習し、理解する	○	○	○	○	授業への取り組み、態度、授業プリント 表現の工夫 作品	○	○	○	○	10
	3. 写経作品	・筆または筆ペンを使用し、写経作品を制作する。 ・写経作品の表現や歴史、文化について理解する。			○	○	授業への取り組み、態度、授業プリント 表現の工夫 作品	○	○	○	○	4
	4. ハガキ・年賀状・封筒	・実際に使用するハガキや年賀状、封筒、金封、送り状などの書き方を学ぶ。 ・用途に合わせて書き方、表現を変えることができる。			○	○	授業への取り組み、態度、授業プリント 表現の工夫 テキスト	○	○	○	○	2
2 学 期	5. 硬筆・毛筆検定	・硬筆検定、毛筆検定の教材を使用し、実技から理論までを学習する。 ・実際に受験する際の対策も行う。 ・書き順や誤字脱字、旧字、書写体を理解する。	○	○	○	○	授業への取り組み、態度、授業プリント 表現の工夫 作品	○	○	○	○	16
	6. 篆刻	・篆刻の歴史や技法をより深く学習する ・刻字の刀法を身につけ、表現を工夫して意欲的に作品制作に取り組む ・姓名印を作成する	○	○	○	○	授業への取り組み、態度、授業プリント 表現の工夫 テキスト	○	○	○	○	18

高等学校 令和7年度（2・3学年用） 教科 芸術 科目 書道概論

教科：芸術

科目：書道概論

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年

教科担当者：加藤 香蓮

使用教科書：（ ）

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道概論

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
古典の特徴や書風を捉え、書道作品として相応しい構成で作品制作ができている。	古典の意味を理解し、書風や構成との関係を考慮しさまざまな用具用材で表現し、工夫ができている。意臨を作品に入れ込み、工夫ができている。	作品や古人、古典に対して興味を持って積極的に理解をしようとしている。展覧会に出品し、主体的に学習活動に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			漢	仮	漢						
1 学 期	1. 書道の基礎	・書道において基礎的（歴史・用具用材など）を理解する。で学習した古典を鑑賞し、特徴を確認し、意欲的に制作に取り組む	○	○	○	○	授業への取り組み、態度、授業プリント 表現の工夫 作品	○	○	○	5
	2. 作品制作(折帖)	・好きな古典を選び、折帖作品を制作する ・折帖に相応しい古典や用具用材を考え、表現する。 ・折帖作品の表現や歴史、文化について理解する。			○	○	授業への取り組み、態度、授業プリント 表現の工夫 作品	○	○	○	6
	3. 作品制作(卷子)	・好きな古典を選び、卷子作品を制作する ・卷子作品に相応しい古典や用具用材を考え、表現する。 ・卷子作品の表現や歴史、文化について理解する。			○	○	授業への取り組み、態度、授業プリント 表現の工夫 作品	○	○	○	8
	4. 作品研究	・書家または古典について研究する ・その書家または古典の作品傾向や癖、作品に対して研究をし、書之美を味わう。 ・書家や古典について深く学んだ作品との比較をし、書の知識の幅を広げる。			○	○	授業への取り組み、態度、授業プリント 表現の工夫 レポート作成 評価アンケート	○	○	○	12
2 学 期	5. 展覧会 「学芸サイエンス」 「光の道競書大会」 「全国高等学校書道コンクール」	・さまざまな展覧会に出品し、実際に作品制作をし、芸術活動を行う。	○	○	○	○	授業への取り組み、態度、授業プリント 表現の工夫 作品	○	○	○	10
	6. 篆刻	・篆刻の歴史や技法をより深く学習する ・刻字の刀法を身につけ、表現を工夫して意欲的に作品制作に取り組む ・姓名印を作成する	○	○	○	○	授業への取り組み、態度、授業プリント 表現の工夫 作品	○	○	○	13

年間授業計画

板橋有徳 高等学校 令和7年度（2年次用） 教科

外国語

科目 英語コミュニケーションⅡ

教科： 外国語 科目： 英語コミュニケーションⅡ

単位数： 3 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 5 組

教科担当者： （ 応用：遠藤 ） （ 標準：金山 ） （ 基礎：諏訪 ）

使用教科書： （ Power On English communicationⅡ ）

教科 外国語 の目標：

- 【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。外国語についての音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面に応じて適切に活用できる技能を身に付けている。
- 【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的は話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。
- 【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

科目 英語コミュニケーションⅡ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に取り組む態度】
日常的・社会的な話題について支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手や、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。	日常的・社会的な話題について支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。	日常的・社会的な話題について支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理に注意して話して伝え合ったりすることができる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 〔 や 〕	話 〔 発 〕	書					
Lesson 1 Play me, I'm Yours 【題材内容】 ストリートピアノについてのテレビレポートを読み取る	・文法理解 助動詞＋動詞の原形、受け身, S＋V [be 動詞以外]＋C ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	【知識・技能】助動詞＋動詞の原形、受け身, S＋V [be 動詞以外]＋Cを用いた文の形・意味・用法を理解している。 日本や海外でのストリートピアノと人々・社会とのかかわりについて、助動詞＋動詞の原形、受け身, S＋V [be 動詞以外]＋Cなどの理解を基に、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、ストリートピアノがどのような経緯で設置されたかについて、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 日本や海外でのストリートピアノと人々・社会とのかかわりについて、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、ストリートピアノがどのような経緯で設置されたかについて、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 日本や海外でのストリートピアノと人々・社会とのかかわりについて、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、ストリートピアノがどのような経緯で設置されたかについて、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。	○	○	○	7
Lesson 2 Ethical Fashion	【題材内容】 現代のファッション業界についてのニュース記事。ファストファッションの問題点やエシカルファッションについて考える。 【言語材料】 S＋V＋O＋C [形容詞]、S＋V [使役]＋O＋C [原形不定詞]、S＋V [知覚]＋O＋C [現在分詞、原形不定詞] 【言語の働き】 説明する、理由を述べる、紹介する、発表する	○	○	○	○	○	○	○	○	8	
1学期中間考査		○	○		○		○	○	○	1	

<p>Lesson 5 Design for Connecting Society: Braille Neue [題材内容] ユニバーサルデザインのフォント、 ブレイルノイエとその開発者の高橋 鴻介氏へのインタビューについての 雑誌記事</p>	<p>[言語材料] 助動詞+受け身, S+V+C [分 詞], S+V+O [if節], It seems [appears] +that節 [言語の働き] 質問する, 説明する, 例示する, 提案する, 発表する</p>				<p>[知識] 助動詞+受け身, S+V+C [分 詞], S+V+O [if節], It seems [appears] +that節を用いた文の形・意 味・用法を理解している。 [技能] ブレイルノイエの開発の経緯や利 点と可能性について, 助動詞+受け身, S +V+C [分詞], S+V+O [if節], It seems [appears] +that節などの理解を基 に, 必要な情報, 話・文章の展開や話し 手・書き手の意図, 概要や要点, 詳細を目的 に応じて捉えたり, ブレイルノイエの利 点と活用方法について, 多様な語句や文を 用いて, 情報や自分の考えなどを論理性に 注意して詳しく話したり書いたりして伝える 技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 ブレイルノイエの開発の経緯や利点と可能 性について, 必要な情報, 話・文章の展開 や話し手・書き手の意図, 概要や要点, 詳 細を捉えたり, 聞いたり読んだりしたこ とを活用しながら, ブレイルノイエの利点と 活用方法について, 情報や自分の考えなど を論理性に注意して詳しく話したり書い たりして伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ブレイルノイエの開発の経緯や利点と可 能性について, 必要な情報, 話・文章の展 開や話し手・書き手の意図, 概要や要点, 詳細を捉えたり, 聞いたり読んだりしたこ とを活用しながら, ブレイルノイエの利点 と活用方法について, 情報や自分の考えな どを論理性に注意して詳しく話したり書い たりして伝えようとしている。</p>			8
--	---	--	--	--	---	--	--	---

<p>Lesson 6 New Banknotes</p>	<p>【題材内容】 2024年に新しく発行される紙幣にまつわる話やキャッシュレス化についてのオンライン記事 【言語材料】 It+is [was] +said+that 節, 形式目的語itとthat 節, 形式目的語itとto 不定詞, 助動詞+have+過去分詞 【言語の働き】 説明する, 意見を述べる, 賛成する, 反対する, 理由を述べる, 発表する, 質問する</p>	○	○	○	○	○	<p>【知識】 It+is [was] +said+that 節, 形式目的語itとthat 節, 形式目的語itとto 不定詞, 助動詞+have+過去分詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【技能】 新紙幣とキャッシュレス社会について, It+is [was] +said+that 節, 形式目的語itとthat 節, 形式目的語itとto 不定詞, 助動詞+have+過去分詞などの理解を基に, 必要な情報, 話・文章の展開や話し手・書き手の意図, 概要や要点, 詳細を目的に応じて捉えたり, キャッシュレス社会の長所・短所について, 多様な語句や文を用いて, 情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 新紙幣とキャッシュレス社会について, 必要な情報, 話・文章の展開や話し手・書き手の意図, 概要や要点, 詳細を捉えたり, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, キャッシュレス社会の長所・短所について, 情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 新紙幣とキャッシュレス社会について, 必要な情報, 話・文章の展開や話し手・書き手の意図, 概要や要点, 詳細を捉えたり, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, キャッシュレス社会の長所・短所について, 情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。</p>	○	○	○	9
<p>2学期中間考査</p>		○	○	○	○	○	○	○	○	○	1
<p>Lesson 7 Some Secrets about Colors</p>	<p>【題材内容】 色が私たちに与える影響や色の持つ心理的効果についての論説文 【言語材料】 関係代名詞(所有格), 同格を表す接続詞that, 前置詞+関係代名詞, 関係副詞whereの非制限用法 【言語の働き】 説明する, 提案する, 理由を述べる, 意見を述べる, 質問する</p>	○	○	○	○	○	<p>【知識】 関係代名詞(所有格), 同格を表す接続詞that, 前置詞+関係代名詞, 関係副詞whereの非制限用法を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【技能】 色の心理的効果について, 関係代名詞(所有格), 同格を表す接続詞that, 前置詞+関係代名詞, 関係副詞whereの非制限用法などの理解を基に, 必要な情報, 話・文章の展開や話し手・書き手の意図, 概要や要点, 詳細を目的に応じて捉えたり, 色の心理的効果を考慮した部屋の壁の色について, 多様な語句や文を用いて, 情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 色の心理的効果について, 必要な情報, 話・文章の展開や話し手・書き手の意図, 概要や要点, 詳細を捉えたり, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 色の心理的効果を考慮した部屋の壁の色について, 情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 色の心理的効果について, 必要な情報, 話・文章の展開や話し手・書き手の意図, 概要や要点, 詳細を捉えたり, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 色の心理的効果を考慮した部屋の壁の色について, 情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。</p>	○	○	○	8

<p>Lesson 8 Powdered Natto Solves a Global Water Problem</p>	<p>〔題材内容〕 小田兼利博士が開発した納豆パウダーの誕生秘話と世界へ広がる様子についての論説文 〔言語材料〕 強調構文、強調の助動詞do、直前の文を先行詞とする関係代名詞which, to+have+過去分詞 〔言語の働き〕 説明する、紹介する、描写する、注意をひく、勧める</p>	○	○	○	○	○	<p>〔知識〕強調構文、強調の助動詞do、直前の文を先行詞とする関係代名詞which, to+have+過去分詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 〔技能〕納豆パウダーの開発の経緯と汚水を浄化するしくみや、発展途上国への影響について、強調構文、強調の助動詞do、直前の文を先行詞とする関係代名詞which, to+have+過去分詞などの理解を基に、必要な情報、話・文章の展開や話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、納豆パウダーという製品の利点などについて、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 納豆パウダーの開発の経緯と汚水を浄化するしくみや、発展途上国への影響について、必要な情報、話・文章の展開や話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、納豆パウダーという製品の利点などについて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 納豆パウダーの開発の経緯と汚水を浄化するしくみや、発展途上国への影響について、必要な情報、話・文章の展開や話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、納豆パウダーという製品の利点などについて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。</p>	○	○	9
2学期期末考査		○	○	○	○	○		○	○	1
<p>Lesson 9 Flying after Her Dreams</p>	<p>〔題材内容〕 アメリカで黒人女性初のパイロットとなったベシー・コールマンの伝記 〔言語材料〕 譲歩を表す副詞節, no matter how [where, when] (※要修正反映), 仮定法過去完了, 分詞構文(過去分詞) 〔言語の働き〕 質問する、説明する、理由を述べる</p>	○	○	○	○	○	<p>〔知識〕譲歩を表す副詞節, no matter how [where, when] (※要修正反映), 仮定法過去完了, 分詞構文(過去分詞)を用いた文の形・意味・用法を理解している。 〔技能〕黒人女性初のパイロットであるベシー・コールマンの経歴や人物像や夢について、譲歩を表す副詞節, no matter how [where, when] (※要修正反映), 仮定法過去完了, 分詞構文(過去分詞)などの理解を基に、必要な情報、話・文章の展開や話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、1900年頃のアメリカにおける女性の専門職の就労について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 黒人女性初のパイロットであるベシー・コールマンの経歴や人物像や夢について、必要な情報、話・文章の展開や話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、1900年頃のアメリカにおける女性の専門職の就労について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 黒人女性初のパイロットであるベシー・コールマンの経歴や人物像や夢について、必要な情報、話・文章の展開や話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、1900年頃のアメリカにおける女性の専門職の就労について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。</p>	○	○	9

<p>Lesson 10 To Work or Not to Work?: Humans and Robots</p>	<p>[題材内容] 日本が誇るロボットやロボットの労働などについての論説文</p> <p>[言語材料] 過去完了進行形, be+to 不定詞, 未来完了形, insist など+that+S+V [動詞の原形]</p> <p>[言語の働き] 説明する, 発表する, 提案する, 予想する, 意見を述べる, 理由を述べる</p>	○	○	○	○	○	<p>[知識] 過去完了進行形, be+to 不定詞, 未来完了形, insist など+that+S+V [動詞の原形] を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>[技能] 各種のロボットやロボットの労働内容の変化について, 過去完了進行形, be+to 不定詞, 未来完了形, insist など+that+S+V [動詞の原形] などの理解を基に, 必要な情報, 話・文章の展開や話し手・書き手の意図, 概要や要点, 詳細を目的に応じて捉えたり, 自分が考案した生活に役立つロボットの形状や機能などについて, 多様な語句や文を用いて, 情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 各種のロボットやロボットの労働内容の変化について, 必要な情報, 話・文章の展開や話し手・書き手の意図, 概要や要点, 詳細を捉えたり, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 自分が考案した生活に役立つロボットの形状や機能などについて, 情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 各種のロボットやロボットの労働内容の変化について, 必要な情報, 話・文章の展開や話し手・書き手の意図, 概要や要点, 詳細を捉えたり, 聞いたり読んだりしたことを活用しながら, 自分が考案した生活に役立つロボットの形状や機能などについて, 情報や自分の考えなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。</p>	○	○	10
<p>学年末考査</p>		○	○		○		○	○	1	

年間授業計画

板橋有徳 高等学校 令和7年度(2年次用) 教科 外国語 科目 論理・表現Ⅱ

教科: 外国語 科目: 論理・表現Ⅱ 単位数: 2 単位

対象学年組: 第2学年 1組～5組

教科担当者: (応用: 土肥) (標準: 遠藤(大)) (基礎: 塚野)

使用教科書: (MY WAY Logic and Expression I, MY WAY Logic and Expression II (三省堂))

教科 外国語 の目標:

【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 論理・表現Ⅱ の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実際に英語を用いた言語活動を通して実際のコミュニケーションにおいて活用できる日脳を身に付ける。	具体的な課題等を設定し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、これらを論理的に適切な英語で表現することができる。	具体的な課題等を設定し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、これらを論理的に適切な英語で表現しようとする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 〔 や 〕	話 〔 発 〕	書					
<p>A 単元: 現在完了形、過去完了形</p> <p>【知識及び技能】 いろな経験を表す表現、未来を表す表現の意味や働きを理解し、適切に使う。 理解しやすい発音・イントネーションで伝え合っている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 お互いによく理解できるように、これまでの経験と未来を表す表現について、多様な語句や分を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを即興で詳しく伝え合っている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 お互いによく理解できるように、これまでの経験と未来について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを即興で詳しく伝え合おうとしている。</p>	<p>現在完了形</p> <ul style="list-style-type: none"> 完了、経験、継続 <p>過去完了形</p> <ul style="list-style-type: none"> 完了、経験、継続、大過去 <p>未来を表す表現</p> <ul style="list-style-type: none"> will+動詞の原形 be going to+動詞の原形 <p>現在形</p> <p>未来を表す表現</p> <ul style="list-style-type: none"> 未来進行形 未来完了形 	○	○	○	○						
						<p>【知識及び技能】 経験を表す表現、未来を表す表現の意味や働きを理解し、適切に使うことができる。 理解しやすい発音・イントネーションで伝え合える。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 お互いによく理解できるように、これまでの経験と未来を表す表現について、語句や分を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを詳しく伝え合える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 お互いによく理解できるように、これまでの経験と未来について、語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを詳しく伝え合おうとしている。</p>	○	○	○		7

<p>B 単元：助動詞の表現、助動詞+have+過去分詞</p> <p>【知識及び技能】 助動詞の表現やいろいろな予定を表す表現の意味や働きを理解し、適切に使う。また、最新のものについて情報を伝えるために必要となる表現を使う。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 お互いによく理解できるように、週末の予定について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを即興で詳しく伝え合う。また、聞き手によく理解してもらえるように、最新のものにつちえ、情報を整理し、多様な語句や文を用いて詳しく話して紹介する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 お互いによく理解できるように、週末の予定について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを即興で詳しく伝え合う。また、聞き手によく理解してもらえるように、最新のものにつちえ、情報を整理し、多様な語句や文を用いて詳しく話して紹介しようとしている。</p>	<p>助動詞の表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・would, sused to, should, had better <p>助動詞+have+過去分詞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・must/may/should/cannot have P.P. be to 不定詞 	○	○	○	○	<p>【知識及び技能】 助動詞の表現や予定を表す表現の意味や働きを理解し、使うことができる。また、最新のものについて情報を伝えるために必要となる表現を使うことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 お互いに理解できるように、週末の予定について、語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを伝え合うことができる。また、聞き手に理解してもらえるように、最新のものについて、情報を整理し、多様な語句や文を用いて詳しく話して紹介することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 お互いに理解できるように、週末の予定について、語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを詳しく伝え合う。また、聞き手に理解してもらえるように、最新のものについて、情報を整理し、語句や文を用いて詳しく話して紹介しようとしている。</p>	○	○	7
<p>定期考査</p>							○	○	1
<p>C 単元：受動態、不定詞</p> <p>【知識及び技能】 受動態や、授業で行われている内容を表す表現の意味や働きを理解し、適切に使う。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 お互いによく理解できるように、印象深かった授業について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを理由と共に即興で詳しく伝え合う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 お互いによく理解できるように、印象深かった授業について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを理由と共に即興で詳しく伝えようとしている。</p>	<p>受動態</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受動態の基本 ・by以外の前置詞 ・進行形の受動態 ・完了形の受動態 <p>不定詞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名詞的・形容詞的・副詞的用法 ・形式主語 ・形式目的語 ・疑問詞+不定詞 	○	○	○	○	<p>【知識及び技能】 受動態や、授業で行われている内容を表す表現の意味や働きを理解し、適切に使うことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 お互いに理解できるように、印象深かった授業について、語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを理由と共に詳しく伝え合うことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 お互いに理解できるように、印象深かった授業について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを理由と共に即興で詳しく伝えようとしている。</p>	○	○	7
<p>D 単元：不定詞、知覚動詞、使役動詞</p> <p>【知識及び技能】 不定詞(進行形・受動態・完了形)の不定詞、原形不定詞)、知覚動詞、使役動詞や日本文化を表す表現の意味や働きを理解し、適切に使う。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 お互いによく理解できるように、日本の文化について、多様な語句や文尾を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを即興で詳しく伝え合う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 お互いによく理解できるように、日本の文化について、多様な語句や文尾を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを即興で詳しく伝えようとしている。</p>	<p>不定詞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進行形・受動態・完了形不定詞 ・知覚動詞 ・使役動詞 ・help <p>知覚動詞、使役動詞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知覚動詞+0+動詞の原形・ing形・P.P. ・make/let/have+0+動詞の原形 	○	○	○	○	<p>【知識及び技能】 不定詞、知覚動詞、使役動詞や日本文化を表す表現の意味や働きを理解し、適切に使うことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 お互いに理解できるように、日本の文化について、語句や文尾を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを詳しく伝え合うことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 お互いに理解できるように、日本の文化について、多様な語句や文尾を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを即興で詳しく伝えようとしている。</p>	○	○	7
<p>定期考査</p>							○	○	1

<p>A 単元：動名詞、分詞構文</p> <p>【知識及び技能】 動名詞や分詞構文、将来実現するかもしれないことを表す表現の意味や働きを理解し、適切に使う。 【思考力、判断力、表現力等】 お互いによく理解できるように、いろいろな科学技術について、多様な語句や文尾を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを理由と共に即興で詳しく伝え合う。 【学びに向かう力、人間性等】 お互いによく理解できるように、いろいろな科学技術について、多様な語句や文尾を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを理由と共に即興で詳しく伝えようとしている。</p>	<p>動名詞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動名詞の基本 ・動名詞の受動態 ・動名詞の完了形 ・動名詞の意味上の主語 ・動名詞の慣用表現 <p>分詞構文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分詞構文（現在分詞） ・分詞構文の否定 ・分詞構文（過去分詞） ・分詞構文の完了形 ・with+0+現在分詞／過去分詞 	○	○	○	○	<p>【知識及び技能】 動名詞や分詞構文、将来実現するかもしれないことを表す表現の意味や働きを理解し、適切に使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 お互いに理解できるように、科学技術について語句や文尾を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを理由と共に詳しく伝え合うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 お互いに理解できるように、科学技術について、語句や文尾を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを理由と共に詳しく伝えようとしている。</p>	○	○	○	7
<p>B 単元：比較</p> <p>【知識及び技能】 比較（比較級、最上級、同等比較、倍数表現、比較の強調）、（the+序数+最上級）や身近なものを表す表現の意味や働きを理解し、適切に使う。 【思考力、判断力、表現力等】 お互いによく理解できるように、もの数や大きさなどについて、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを即興で詳しく伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 お互いによく理解できるように、もの数や大きさなどについて、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを即興で詳しく伝えようとしている。</p>	<p>比較①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・比較級（基本） ・最上級（基本） ・as～as ・not as ～as <p>比較②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・劣等比較 ・倍数表現 ・比較級・最上級の強調 ・the比較級、the比較級 	○	○	○	○	<p>【知識及び技能】 比較、（the+序数+最上級）や身近なものを表す表現の意味や働きを理解し、適切に使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 お互いに理解できるように、もの数や大きさなどについて、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 お互いに理解できるように、もの数や大きさなどについて、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを詳しく伝えようとしている。</p>	○	○	○	7
<p>2学 定期考査</p>										1
<p>C 単元：関係代名詞、関係副詞</p> <p>【知識及び技能】 関係代名詞、関係副詞、関係詞の非制限用法、複合関係詞、や、火星の環境を表す表現の意味や働きを理解し、適切に使う。 【思考力、判断力、表現力等】 お互いによく理解できるように、火星について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを即興で詳しく伝え合う。 【学びに向かう力、人間性等】 お互いによく理解できるように、火星について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを即興で詳しく伝えようとしている。</p>	<p>関係代名詞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主格 ・目的格 ・所有格 ・what <p>関係副詞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・where ・when <p>関係代名詞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非制限方法 ・文を先行詞とするwhich ・前置詞+関係詞 ・複合関係代名詞 <p>関係副詞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複合関係副詞 	○	○	○	○	<p>【知識及び技能】 関係代名詞、関係副詞、関係詞の非制限用法、複合関係詞や、火星の環境を表す表現の意味や働きを理解し、適切に使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 お互いに理解できるように、火星について語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを詳しく伝え合うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 お互いに理解できるように、火星について、語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを詳しく伝えようとしている。</p>	○	○	○	7

	<p>D 単元：仮定法</p> <p>【知識及び技能】 仮定法や仮定法過去完了を用いた様々な表現、旅行先でできることを表す表現の意味や働きを理解し、適切に使う。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 お互いによく理解できるように、外国について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを即興で詳しく伝え合う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 お互いによく理解できるように、外国について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを即興で詳しく伝えようとしている。</p>	<p>仮定法①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮定法過去 ・仮定法過去完了 ・仮定法過去完了+仮定法過去 ・wish+仮定法過去/仮定法過去完了 <p>仮定法②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・If...should/were to... ・as if 仮定法過去/仮定法過去完了 ・without ・otherwise 	○	○	○	○	<p>【知識及び技能】 仮定法や仮定法過去完了を用いた表現、旅行先でできることを表す表現の意味や働きを理解し、適切に使うことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 お互いによく理解できるように、外国について、語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを即興で詳しく伝え合うことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 お互いによく理解できるように、外国について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを即興で詳しく伝えようとしている。</p>	○	○	○	7
定期考査											1
3 学期	<p>A 単元：否定の表現、代名詞を使った表現</p> <p>【知識及び技能】 否定の表現や代名詞を使った様々な表現、経験・物事を説明する表現の意味や働きを理解し、適切に使っている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 お互いによく理解できるように、悩み事について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを即興で詳しく伝える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 お互いによく理解できるように、悩み事について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを即興で詳しく伝えようとしている。</p>	<p>否定の表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・not all ・not at all ・few ・little ・hardly <p>代名詞を使った表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・one ・another ・one ~ the other ・some ~ others ・that of ・those who 	○	○	○	○	<p>【知識及び技能】 否定の表現や代名詞を使った表現、経験・物事を説明する表現の意味や働きを理解し、適切に使うことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 お互いによく理解できるように、悩み事について、語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを即興で詳しく伝えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 お互いによく理解できるように、悩み事について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考え、気持ちなどを即興で詳しく伝えようとしている。</p>	○	○	○	7
	<p>B 単元：無生物主語構文、thatを使った表現</p> <p>【知識及び技能】 無生物主語構文、thatを使った様々な表現や物事の調べ方を表す表現の意味や働きを理解し、適切に使う。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 相手によく理解してもらえるように、調べ学習で調べたことについて、多様な語句や文を用いて、情報を即興で詳しく話して伝え合う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 相手によく理解してもらえるように、調べ学習で調べたことについて、多様な語句や文を用いて、情報を即興で詳しく話して伝えようとしている。</p>	<p>無生物主語構文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・enable ・take ・bring ・remind ・prevent ・make <p>thatを使った表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・強調構文 ・so-that ・such-that ・同格 	○	○	○	○	<p>【知識及び技能】 無生物主語構文、thatを使った表現や物事の調べ方を表す表現の意味や働きを理解し、適切に使うことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 相手に理解してもらえるように、調べ学習で調べたことについて、多様な語句や文を用いて、情報を詳しく話して伝え合うことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 相手に理解してもらえるように、調べ学習で調べたことについて、語句や文を用いて、情報を即興で詳しく話して伝えようとしている。</p>	○	○	○	7

年間授業計画 様式例

高等学校 令和7年度（2年次用） 教科 外国語（英語） 科目 英語演習（応用）

教科： 外国語（英語） 科目： 英語演習（応用） 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 年次 1 組～ 5 組

教科担当者： （応用①：諏訪） （応用②：齊藤）

使用教科書： （英語総合問題演習 WIDE ANGLE 5訂版 BOOK3）

教科 外国語（英語） の目標：

【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。
外国語についての音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによって、目的や場面に応じて適切に活用できる技能を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】 目的や場面、状況に応じて、日常的は話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。

【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いようとしている。

科目 英語演習（応用） の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常的・社会的な話題について支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手や、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。	日常的・社会的な話題について支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。	日常的・社会的な話題について支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理に注意して話して伝え合ったりすることができる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 「 や 」	話 「 発 」	書					
<p>Lesson 1 Music Event</p> <p>【技能】 友人からの招待メールについて、基本時制の理解を基に、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。</p>	<p>【題材内容】 音楽イベントに招待する旨のメール</p> <p>【言語材料】 基本時制（現在形、過去形、未来表現、進行形）</p> <p>【言語の働き】 読む、書く、聞く、説明する</p> <p>【知識】 基本時制を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p>	○	○	○	○	○					3
<p>Lesson 2 Wonderful things in Japan</p> <p>【技能】 日本にある素晴らしいものについて、完了形の理解を基に、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。</p>	<p>【題材内容】 日本にある素晴らしいものについて学ぶ</p> <p>【言語材料】 完了形（現在完了、過去完了、未来完了、完了進行形）</p> <p>【言語の働き】 読む、書く、聞く、説明する</p> <p>【知識】 完了形を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p>	○	○	○	○	○					3

<p>Lesson 3 Colors</p> <p>【技能】 色の与える印象について、助動詞の理解を基に、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。</p>	<p>【題材内容】 色が与える印象について様々な例から学ぶ</p> <p>【言語材料】 助動詞 【言語の働き】 読む、書く、聞く、説明する 【知識】 助動詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p>	○	○	○	○	<p>【技能】 助動詞の理解を基に、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。</p>	○	○	○	3				
定期考査											○	○	○	1
<p>Lesson 4 Tennis court Rental</p> <p>【技能】 テニスコートレンタルについて、受動態の理解を基に、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。</p>	<p>【題材内容】 テニスコートのレンタルに関する広告</p> <p>【言語材料】 受動態 【言語の働き】 読む、書く、聞く、説明する 【知識】 受動態を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p>	○	○	○	○	<p>【技能】 テニスコートレンタルについて、受動態の理解を基に、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。</p>	○	○	○	3				
<p>Lesson 5 How to Write</p> <p>【技能】 文章の書き方について、不定詞の理解を基に、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。</p>	<p>【題材内容】 文章の書き方に関するエッセイ</p> <p>【言語材料】 不定詞（名詞的用法、形容詞的用法、副詞的用法） 【言語の働き】 読む、書く、聞く、説明する 【知識】 不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p>	○	○	○	○	<p>【技能】 不定詞の理解を基に、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。</p>	○	○	○	3				
<p>Lesson 6 Name</p> <p>【技能】 色々なものの名前について、不定詞の理解を基に、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。</p>	<p>【題材内容】 名前についての論説文</p> <p>【言語材料】 不定詞（不定詞を使った熟語表現） 【言語の働き】 読む、書く、聞く、説明する 【知識】 不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p>	○	○	○	○	<p>【技能】 不定詞の理解を基に、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。</p>	○	○	○	3				
定期考査											○	○	○	1

<p>Lesson 7 How Do We See Things?</p> <p>[技能] ものが見える仕組みについて、動名詞の理解を基に、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。</p> <p>[思考・判断・表現] 必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えている。</p> <p>[主体的に学習に取り組む態度] 必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。</p>	<p>[題材内容] ものが見える仕組みについての論説文</p> <p>[言語材料] 動名詞 [言語の働き] 読む、書く、聞く、説明する [知識] 動名詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p>	○	○	○	○	○	<p>[技能] 動名詞の理解を基に、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。</p> <p>[思考・判断・表現] 必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えている。</p> <p>[主体的に学習に取り組む態度] 必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。</p>	○	○	○	3
<p>Lesson 8 Art Classes</p> <p>[技能] アート教室について、分詞の理解を基に、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。</p> <p>[思考・判断・表現] 必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えている。</p> <p>[主体的に学習に取り組む態度] 必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。</p>	<p>[題材内容] アート教室に関する広告</p> <p>[言語材料] 分詞 [言語の働き] 読む、書く、聞く、説明する [知識] 分詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p>	○	○	○	○	○	<p>Lesson 8 Art Classes</p> <p>[技能] 分詞の理解を基に、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。</p> <p>[思考・判断・表現] 必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えている。</p> <p>[主体的に学習に取り組む態度] 必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。</p>	○	○	○	3
<p>Lesson 9 Animals Can Help</p> <p>[技能] 動物の必要性について、関係詞の理解を基に、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。</p> <p>[思考・判断・表現] 必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えている。</p> <p>[主体的に学習に取り組む態度] 必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。</p>	<p>[題材内容] 動物の必要性についての論説文</p> <p>[言語材料] 関係詞（関係代名詞、関係副詞） [言語の働き] 読む、書く、聞く、説明する [知識] 関係詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p>	○	○	○	○	○	<p>[技能] 関係詞の理解を基に、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。</p> <p>[思考・判断・表現] 必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えている。</p> <p>[主体的に学習に取り組む態度] 必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。</p>	○	○	○	3
<p>定期考査</p>								○	○		1

<p>学期</p>	<p>Lesson 10 Florence Nightingale</p> <p>[技能] ナイチンゲールについて、関係詞の理解を基に、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。</p> <p>[思考・判断・表現] 必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。</p> <p>[主体的に学習に取り組む態度] 必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。</p>	<p>[題材内容] ナイチンゲールの伝記</p> <p>[言語材料] 関係詞（非制限用法、複合関係副詞）</p> <p>[言語の働き] 読む、書く、聞く、説明する</p> <p>[知識] 関係詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p>	○	○	○	○	○	<p>[技能] 関係詞の理解を基に、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。</p> <p>[思考・判断・表現] 必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。</p> <p>[主体的に学習に取り組む態度] 必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。</p>	○	○	3
	<p>Lesson 11 University Students' Diet</p> <p>[技能] 大学生の食事について、比較の理解を基に、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。</p> <p>[思考・判断・表現] 必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。</p> <p>[主体的に学習に取り組む態度] 必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。</p>	<p>[題材内容] 大学生の食事についての論説文</p> <p>[言語材料] 比較（比較変化、比較級、最上級、原級）</p> <p>[言語の働き] 読む、書く、聞く、説明する</p> <p>[知識] 比較を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p>	○	○	○	○	○	<p>[技能] 大学生の食事について、比較の理解を基に、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。</p> <p>[思考・判断・表現] 必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。</p> <p>[主体的に学習に取り組む態度] 必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。</p>	○	○	3
	<p>Lesson 12 Long-Life Building</p> <p>[技能] 寿命の長い建物について、比較の理解を基に、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。</p> <p>[思考・判断・表現] 必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。</p> <p>[主体的に学習に取り組む態度] 必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。</p>	<p>[題材内容] 寿命の長い建物に関する論説文</p> <p>[言語材料] 比較（原級・比較級を使って最上級の文を表す、比較を使った構文）</p> <p>[言語の働き] 読む、書く、聞く、説明する</p> <p>[知識] 比較を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p>	○	○	○	○	○	<p>[技能] 比較の理解を基に、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。</p> <p>[思考・判断・表現] 必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。</p> <p>[主体的に学習に取り組む態度] 必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。</p>	○	○	3
定期考査									○	○	1

年間授業計画

板橋有徳 高等学校 令和7年度（2年次用） 教科 外国語（英語） 科目 英語演習（標準）

教科： 外国語（英語） 科目： 英語演習（標準）

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 年次 1 組～ 5 組

教科担当者： （標準①：土肥） （標準②：金山）

使用教科書： （英語総合問題演習 WIDE ANGLE 5訂版 BOOK2）

教科 外国語（英語）

の目標：

【知識及び技能】 大学入試問題に準ずる問題を解くことができる力をつける。

【思考力、判断力、表現力等】 基本文法を使用し、英語を書いたり読んだりできる。

【学びに向かう力、人間性等】 ペアワークを通じ協働して学ぶ姿勢を身に着ける。また、英文を通じ異文化を理解する。

科目 英語演習（標準）

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ある程度の英文を読み、内容を理解し、問題を解くことができる。 英文法の基礎を身に付け、応用できる。 ある程度の英文を聞き、内容を理解できる。	英文を読み、内容を理解することができる。 基礎的な英文法を使用し、まとまった量の英文を書くことができる。 英文を聞いて内容を理解し、反応できる。	ペアワークなどの協働作業を通じて、他者とコミュニケーションできる。 英文を通じて視野を広げ、異文化を理解する。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 〔 や 〕	話 〔 発 〕	書					
A 単元 Lesson 1,2 【知識及び技能】 カナダ留学やイングリッシュキャンプについての英文を理解、be動詞・一般動詞の知識 【思考力、判断力、表現力等】 be動詞、一般動詞を使用して英文を書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ペアワークによる協働作業による学び	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	【知識】 動詞の現在形・過去形、進行形、助動詞+動詞の原形を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【技能】 動詞の現在形・過去形、進行形、助動詞+動詞の原形などの理解を基に、文章の内容を読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 英文から必要な情報を読み取り、書き手の意図、概要や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 過去と現在の日本の観光の状況について知り、情報や自分の考えをまとめるために、日本の観光について書かれた文章から、必要な情報を読み取ろうとしたり、書き手の意図、概要や要点を把握しようとしていたりしている。	○	○	○	5
B 単元 Lesson 3,4 【知識及び技能】 日曜の訪問や将来の夢についての英文を理解、文型の知識 【思考力、判断力、表現力等】 文型を使用して英文を書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ペアワークによる協働作業による学び	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	【知識】 不定詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【技能】 動詞の現在形・過去形、進行形、助動詞+動詞の原形などの理解を基に、文章の内容を読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 英文から必要な情報を読み取り、書き手の意図、概要や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 過去と現在の日本の観光の状況について知り、情報や自分の考えをまとめるために、日本の観光について書かれた文章から、必要な情報を読み取ろうとしたり、書き手の意図、概要や要点を把握しようとしていたりしている。	○	○	○	5
定期考査								○	○		1
C 単元 Lesson 5,6 【知識及び技能】 ことわざや家族のメールについての英文を理解、時制や進行形の知識 【思考力、判断力、表現力等】 時制や進行形を使用して英文を書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ペアワークによる協働作業による学び	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	【知識】 受動詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【技能】 動詞の現在形・過去形、進行形、助動詞+動詞の原形などの理解を基に、文章の内容を読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 英文から必要な情報を読み取り、書き手の意図、概要や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 過去と現在の日本の観光の状況について知り、情報や自分の考えをまとめるために、日本の観光について書かれた文章から、必要な情報を読み取ろうとしたり、書き手の意図、概要や要点を把握しようとしていたりしている。	○	○	○	6
D 単元 Lesson 7,8 【知識及び技能】 紙の家や日本語教師についての英文を理解、完了形の知識 【思考力、判断力、表現力等】 完了形を使用して英文を書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ペアワークによる協働作業による学び	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	【知識】 助動詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 【技能】 動詞の現在形・過去形、進行形、助動詞+動詞の原形などの理解を基に、文章の内容を読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 英文から必要な情報を読み取り、書き手の意図、概要や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 過去と現在の日本の観光の状況について知り、情報や自分の考えをまとめるために、日本の観光について書かれた文章から、必要な情報を読み取ろうとしたり、書き手の意図、概要や要点を把握しようとしていたりしている。	○	○	○	6
定期考査								○	○		1

1
学
期

2 学 期	E 単元 Lesson 8,9 【知識及び技能】 日本語教師と時計についての英文を理解、助動詞の知識 【思考力、判断力、表現力等】 助動詞を使用して英文を書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ペアワークによる協働作業による学び	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	○	○	○	6	
	F 単元 Lesson 10,11 【知識及び技能】 アルバイトと夢についての英文を理解、態の知識 【思考力、判断力、表現力等】 受動態を使用して英文を書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ペアワークによる協働作業による学び	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	○	○	○	6	
	定期考査									○	○	1
	G 単元 Lesson 12,13 【知識及び技能】 意見交換や週末のツアーについての英文を理解、不定詞の知識 【思考力、判断力、表現力等】 不定詞を使用して英文を書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ペアワークによる協働作業による学び	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	○	○	○	6	
	H 単元 Lesson 14 【知識及び技能】 自転車についての英文を理解、分詞の知識 【思考力、判断力、表現力等】 分詞を使用して英文を書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ペアワークによる協働作業による学び	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	○	○	○	6	
定期考査									○	○	1	
3 学 期	I 単元 Lesson 15 【知識及び技能】 セルフレジについての英文を理解、関係代名詞の知識 【思考力、判断力、表現力等】 関係代名詞を使用して英文を書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ペアワークによる協働作業による学び	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	○	○	○	8	
	定期考査									○	○	1

年間授業計画

板橋有徳 高等学校 令和7年度（2年次用） 教科 情報 科目 情報Ⅰ

教科： 情報 科目： 情報Ⅰ 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 5 組

教科担当者： （1～5 組： 久保田・新城 ）

使用教科書： （最新情報Ⅰ 実教出版 ）

教科 情報 の目標：

【知識及び技能】 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得し、情報社会と人との関わりについて理解を深める。

【思考力、判断力、表現力等】 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を適切に活用し、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

科目 情報Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技能を身に付けるとともに、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解する。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いる。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
0 オリエンテーション 【知識及び技能】 中学校までの学習、既習内容の調査 P C L L 教室の使い方	・授業の受け方、アンケート ・P C の起動と終了方法 ・ファイルの保存、フォルダの利用方法	【知識・技能】 ・P C を起動し、正しい方法で終了できる。 ・パスワード管理ができ、指定のフォルダにファイルを保存できる。 ・P C L L 教室の使用ルールを理解する。	○			1
1-1 情報社会 【知識及び技能】 情報化が進展する特質や人間とのかかわりについて考え、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 情報と情報技術の活用をすることで、問題点が生じる事例を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 情報化が及ぼす影響について、自らの活用を振り返り、改善しようとする。	1 章 情報社会と私たち 1-1 情報社会 ・情報社会と情報 ・情報の特性 ・情報のモラルと個人に及ぼす影響	【知識・技能】 ・情報化が進展する社会の特質について説明できる。 ・情報の特性について説明できる。 ・情報社会と人間とのかかわりについて考え、理解できる。 【思考・判断・表現】 ・情報の特性を活用した事例と、情報の特性によって問題点が生じる事例をあげることができる。 ・情報と情報技術の活用により加害者にならないための注意点、被害者にならないための対策方法をそれぞれあげることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報化が個人に及ぼす影響について考え、自らの情報活用について振り返り、改善しようとしている。	○	○	○	2
1-2 情報社会の法律と権利 【知識及び技能】 知的財産や個人情報について理解し、保護・管理の方法を考える。 【思考力、判断力、表現力等】 知的財産権が文化の発展に与える影響を説明し、プライバシーを適切に扱う大切さを説明する。 【学びに向かう力、人間性等】 知的財産を活用し、主体的に参画する。	1 章 情報社会と私たち 1-2 情報社会の法律と権利 ・知的財産 ・情報の利用と公開 ・個人情報の保護と管理	【知識・技能】 ・知的財産について説明でき、法律を挙げることができる。 ・目的を達成するために、著作権法に従って適切に利用する方法を説明できる。 ・個人情報やプライバシーの概念を理解し、保護や管理の方法について説明できる。 【思考・判断・表現】 ・知的財産権が産業や文化の発展に与えている影響について説明できる。 ・他人や自分の個人情報とプライバシーを適切に取り扱う際の注意点を挙げることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・知的財産を適切に活用し、主体的に創作活動に参画しようとする。	○	○	○	3
1-3 情報社会が築く新しい情報社会 【知識及び技能】 電気マネー、電子決済、IoT、仮想現実について説明する。 【学びに向かう力、人間性等】 情報システムに関心を持ち、問題解決に役立つ方法を考える。	1 章 情報社会と私たち 1-3 情報社会が築く新しい社会 ・社会の中の情報システム ・情報技術と課題解決	【知識・技能】 ・電子マネー、電子決済の仕組みを説明できる。 ・人工知能、IoT、仮想現実、各超現実についてそれぞれ説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・社会の中の情報システムについて興味や関心を持ち、問題解決に役立つ方法を模索することができる。	○		○	1
2-1 メディアとコミュニケーション 【知識及び技能】 各メディアの機能、特性を説明する。 【思考力、判断力、表現力等】 状況に応じた適切なメディアを選択する。 【学びに向かう力、人間性等】 メディアを批判的に思考し、効果的な表現、情報伝達ができるよう改善する。	2 章 メディアと情報デザイン 2-1 メディアとコミュニケーション ・メディアの発達 ・メディアの特性 ・コミュニケーションの形態 ・インターネットのコミュニケーション	【知識・技能】 ・メディアの機能、メディアの発達について説明でき、様々なメディアを分類できる。 ・文字、図形、音声、静止画などの各表現メディア、情報メディア、伝達メディアの特性についてそれぞれ説明できる。 ・電子メールやSNSなど、インターネットを利用する各種メディアとその特性について説明できる。 【思考・判断・表現】 ・伝達する情報に応じて適切に表現メディアや情報メディアを選択して表現できる。 ・コミュニケーションの方法を発信者と受信者の人数、位置関係、同期性により分類できる。 ・適切かつ効果的にコミュニケーションを図るために、情報メディアを適切に選択できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・メディアから収集する情報を批判的に思考し、主体的に読み解こうとする態度を身に付けている。 ・自らのメディア活用について振り返り、より効果的な表現や情報伝達ができるように改善しようとする。	○	○	○	4
定期考査			○	○		1

1 学期	<p>C 単元</p> <p>【知識及び技能】 ユニバーサルデザインなどの説明や表現・配色の工夫方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ユニバーサルデザインの身近な例を挙げ、配色の表現をする。 【学びに向かう力、人間性等】 わかりやすく伝達するため主体的に情報整理・操作性を高める努力をする。</p>	<p>2 章 メディアと情報デザイン</p> <p>2-2 情報デザイン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会の中の情報デザイン ・情報デザインの工夫 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報バリアフリー、ユニバーサルデザイン、Webアクセシビリティ、ユーザビリティの意味についてそれぞれ説明できる。 ・文字や図の表現の工夫、表やグラフ、配色の工夫など基本的な方法を理解する。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報バリアフリーやユニバーサルデザインについて、身近な例を挙げることができる。 ・目的に沿って、情報を視覚化したり配色を考えて表現できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効果的なコミュニケーションや問題解決のために、主体的に情報を整理したり、わかりやすく伝達したり、操作性を高める努力をしようとする。 ・情報をわかりやすく伝達するため、文字や図、表、グラフなどを工夫して表現する学習活動を行い、評価を受けて改善を図ろうとする。 	○	○	○	2
	<p>C 単元</p> <p>【知識及び技能】 文書のスタイルやフォント、プレゼンテーションの準備など、PCを使い作成する。 【思考力、判断力、表現力等】 読み手が理解しやすい文書、適切・効果的なプレゼンテーションを行う。 【学びに向かう力、人間性等】 レイアウトを構成し、理解しやすい報告書・レポートを作成する。</p>	<p>2 章 メディアと情報デザイン</p> <p>2-3 情報デザインの実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文書の作成 ・プレゼンテーション ・Webページ 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文書の基本的なレイアウト、文字のスタイルやフォントについて理解できる。 ・プレゼンテーションの企画、準備、実施、評価、改善など、プレゼンテーションの流れに沿って説明できる。 ・プレゼンテーションのためのスライド等の資料をPCを使い作成できる。 ・情報を公開する目的で、HTMLやCSSを使ってWebページを作成できる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告者やレポートの目的に沿って、文書の構成やレイアウト等の体裁を考えながら、ワープロを用いて読む人が理解しやすい文書を作成できる。 ・プレゼンテーションソフトを用いてわかりやすいスライド資料を作成し、適切かつ効果的にプレゼンテーションを行うことができる。 ・HTMLとCSSを用いて情報デザインを配慮したWebページを作成できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすい報告書やレポートを作成するため、文書の構成やレイアウトについて工夫し、相互評価に基づいて改善しようとする。 ・説得力のあるプレゼンテーションを行うため、スライド作成やリハーサルに取り組み、よりよいプレゼンテーションになるよう準備を進めている。 ・プレゼンテーションの実施やWebページの作成にあたって、情報伝達の目的に適合するコンテンツ作成に努め、試行錯誤しながら個人やグループのコンテンツ制作の技能を高めようとする。 	○	○	○	8
	<p>C 単元</p> <p>【知識及び技能】 コンピュータの構成、ハードウェア、ソフトウェアの説明をする。 【思考力、判断力、表現力等】 コンピュータの仕組みを説明する。 【学びに向かう力、人間性等】 コンピュータの構成と性能、スマートフォンの機器に興味・関心を持つ。</p>	<p>3 章 システムとデジタル化</p> <p>3-1 情報システムの構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの構成と動作 ・ソフトウェアとインターフェース 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの構成や計算の仕組み、ソフトウェアの種類とその働き、ハードウェア、OS、応用ソフトウェアの関係をそれぞれ説明できる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの計算の仕組みについて、順序立てて説明できる。 ・情報機器を相互に接続するために、適切なインターフェースを選択できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータを構成する装置とその性能に興味・関心を持ち、スマートフォンなどの身近な情報機器について、性能の向上や発展的な活用方法を考えようとする。 ・コンピュータが計算する仕組みについて興味・関心を持ち、理解しようとする。 	○	○	○	2
	<p>D 単元</p> <p>【知識及び技能】 アナログとデジタルの違い、2進法と論理回路を説明する。 【思考力、判断力、表現力等】 アナログとデジタルの違いを説明する。 【学びに向かう力、人間性等】 コンピュータの仕組みに関心を持つ。</p>	<p>3 章 システムとデジタル化</p> <p>3-2 情報のデジタル化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アナログとデジタル ・2進法と情報量 ・演算の仕組み 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アナログとデジタルの概念とその違いを理解する。 ・2進法と情報量の関係、論理回路による演算の仕組みについて説明できる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アナログとデジタルを比較し、その特徴を適切に説明できる。 ・情報量を適切な単位で表現したり、変換したりできる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報のデジタル化について、より深く理解しようとする。 ・コンピュータによる演算の仕組みについて関心を示し、理解しようとする。 	○	○	○	2
定期考査				○	○	○	1

<p>D 単元</p> <p>【知識及び技能】 2進数の計算、音声・画像のデータ量を計算する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 2進数、10進数、16進数の計算、音声・画像の情報を表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 データ量の計算に関心を持ち、デジタル化された情報を適切に取り扱う。</p>	<p>3章 システムとデジタル化</p> <p>3-2 情報のデジタル化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数値と文字の表現 ・数値の計算 ・音声の表現 ・静止画と動画の表現 ・情報のデータ量 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2進数、10進数、16進数を相互に変換できる。 ・2進数の加算や減算ができ、補数について説明できる。 ・音声・画像の情報をデジタル化するための原理が説明でき、データ量を計算できる。 ・データ量から圧縮率を求めることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2進数、10進数、16進数を用い、目的に応じて適切に情報量を表現できる。 ・音声・画像の情報を目的に応じて適切にデジタルで表現できる。 ・圧縮率から圧縮効率を判断できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データ量の計算について関心を持って取り組む。 ・数値・文字・音声・画像などのデジタル化された情報を、適切に取り扱おうとしている。 	○	○	○	6
<p>D 単元</p> <p>【知識及び技能】 通信方式の種類、プロトコルの働き、インターネットの基本的な仕組みについて説明する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 LANを構成する情報機器の考えを適切に説明し、データを圧縮して転送する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ネットワークの構成について調べ、インターネットの仕組みについて興味・関心を持つ。</p>	<p>4章 ネットワークとセキュリティ</p> <p>4-1 情報通信ネットワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワークの構成 ・情報通信の取り決め ・Webページとメールの仕組み ・転送速度とデータ圧縮 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通信方式の種類やその違いについて説明できる。 ・インターネット通信の階層構造、各プロトコルの働きについて説明できる。 ・IPアドレス、ドメイン名、ルーティングの基本的な仕組みや働き、WWWや電子メールなど、インターネットのサービスの内容と基本的な仕組みについてそれぞれ説明できる。 ・目的に応じて適切にインターネットのサービスを選択し、利用できる。 ・通信データの転送速度とファイルを圧縮する意義について理解する。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的に沿って、LANを構成する情報機器の接続を適切に考えることができる。 ・ファイルのデータを効率的に圧縮して転送できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>実際に利用しているネットワークの構成について自ら調べ、問題を指摘してネットワークの改善につなげようとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットの仕組みやサービスに興味・関心を持ち、問題の解決に向けてネットワークの活用について検討しようとする。 	○	○	○	3
<p>D 単元</p> <p>【知識及び技能】 情報セキュリティの考え、サイバー犯罪の内容と対策方法を説明する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 情報セキュリティの対策について判断し、アクセス制御・フィルタリングについて適切に選択する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 リスクを軽減する対策に関心を持ち、安全に送受信する仕組みを活用する。</p>	<p>4章 ネットワークとセキュリティ</p> <p>4-2 情報セキュリティ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脅威に対する安全対策 ・情報セキュリティの確保 ・安全のための情報技術 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティの3つの基本的な考えについて説明できる。 ・不正アクセスなどサイバー犯罪の種類や内容、被害の実態、およびその対策方法について説明できる。 ・メッセージの送受信、デジタル署名、電子認証など応用されている暗号化の方式と仕組みについてそれぞれ説明できる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マルウェアや不正アクセスなどの情報セキュリティの脅威に対する対策について適切に判断し、対処できる。 ・情報セキュリティの確保に向けて、目的に応じて、アクセス制御やフィルタリングなど適切な方法を選択できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マルウェアやサイバー犯罪の被害に遭わないように、リスクを軽減するために対策を継続して行おうとする。 ・暗号の利用など、情報セキュリティを維持するための技術に関心を持ち、理解のもとに安全に情報を送受信するための仕組みを活用しようとする。 	○	○	○	4
<p>定期考査</p>			○	○		1

2 学 期	<p>D 単元</p> <p>【知識及び技能】 問題解決の手順を説明し、問題の構造を分析し、評価の方法を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 問題解決の適切な方法を考え、評価を計画して適切な方法を選択する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的に問題解決に取り組み、相互評価を行い改善を図る。</p>	<p>5 章 問題解決とその方法</p> <p>5-1 問題解決</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題解決 問題の発見 問題の明確化 解決案の検討 解決案の決定 解決案の実施と評価 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題や問題解決の意味、問題解決の手順について説明できる。 問題の明確化のための目的や目標の設定、問題の構造を分析できる。 問題解決の評価の方法について理解する。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題の発見のための現状分析の方法を考え、適切に選択できる。 問題解決の制約条件を考え、目的と目標の設定を適切に行うことができる。 問題解決に適合した評価を計画・実施して、分析しやすいように評価結果を纏めることができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 主体的に問題解決に取り組み貢献しようとする。 試行錯誤しながら粘り強く問題の発見・解決に取り組む。 問題解決の結果を振り返り、積極的に自己評価や相互評価を行い、改善を図ろうとしている。 	○	○	○	5
	<p>D 単元</p> <p>【知識及び技能】 データの種類と水準を理解し、収集したデータを適切に処理する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 問題解決の目的に応じ、手法を適切に選択して分析結果を表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 問題解決のため、表計算ソフトやグラフ化することに積極的に取り組み、相互評価で分析結果を振り返り改善を図る。</p>	<p>5 章 問題解決とその方法</p> <p>5-2 データの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> データの収集と整理 データ分析と表計算 データの可視化 データ分析の手法 データベースとは 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> データの種類と尺度水準について理解し、収集したデータを整理できる。 表計算ソフトで統計処理に用いる関数を活用してデータを処理でき、グラフ化できる。 データベースの意味と必要性を理解し、事例としてリレーショナルデータベースの機能について説明できる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題解決の目的や内容に適したデータを選択して収集でき、適切に尺度水準を用いてデータ整理ができる。 問題解決の目的に応じて、データ分析の手法を適切に選択し、分析結果を効果的に表現できる。 リレーショナルデータベースとNoSQLの特徴を考慮して、格納するデータの性質や量に応じて選択できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題解決のため、表計算ソフト等を用いて情報を処理したり、グラフで可視化したりすることに興味を持つ。 問題解決のためのデータ分析を、試行錯誤しながら粘り強く行うことができる。 問題解決のためのデータ活用に関する取り組みを、データ分析の方法や分析結果の妥当性について、自己評価や相互評価で振り返り、改善しようとする。 	○	○	○	7
	<p>D 単元</p> <p>【知識及び技能】 モデル化・シミュレーションの意味を説明し、事例についてモデルやグラフを作成する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 モデル化の目的を明確にし、表やグラフを作成する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 モデル化に関心を持ち、実際にモデル化を試み改善するなど、主体的に取り組む。</p>	<p>5 章 問題解決とその方法</p> <p>5-3 モデル化</p> <ul style="list-style-type: none"> モデル化とシミュレーション モデルの種類 モデル化の手順 モデル化の手法 モデル化をするときの注意 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> モデル化およびシミュレーションの意味について説明でき、社会の問題解決でどのように利用されているか例を挙げて説明できる。 モデル化の基本的な手順について説明でき、問題を整理したり、構造を明らかにするために、図的モデルを作成できる。 動的に変化する現象のいくつかの事例について、図的モデルや数式モデルで表し、表計算ソフトを用いてグラフを作成できる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実際に使われているモデルについて検討し、表現形式や対象の特性で適切に分類できる。 モデル化の目的を明確にして適切にモデルの構造を決定し、モデルを数式などで表現できる。 現実の問題をモデル化するために、図的モデルや数式モデル、表やグラフを作成できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現実の現象についてのモデル化に関心を持ち、自ら進んでモデル化を試みるなど、主体的に学習に取り組む。 作成したモデルに対し、目的を達成しているかの観点で自己評価、相互評価を行ってモデルの改善に努めようとする。 	○	○	○	5
	定期考査				○	○	

3 学 期	D 単元 【知識及び技能】 シミュレーションによる問題解決を行ってその方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 シミュレーションの結果は状況により変化することを理解し、ひょうやグラフで表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 シミュレーションに関心を持ち、問題解決に意欲的に取り組む。	5章 問題解決とその方法 5-4 シミュレーション ・シミュレーションの実際 ・モンテカルロ法 ・モデル化とシミュレーションによる問題解決	【知識・技能】 ・確率的モデルをコンピュータでシミュレーションする意義について説明できる。 ・待ち行列を事例にモデル化とシミュレーションによる問題解決を行い、問題解決の方法を経験して理解する。 【思考・判断・表現】 ・表計算ソフトの関数を適切に選択・活用して、確率的モデルのシミュレーションを実行できる。 ・シミュレーションの結果は、試行するたびに変化することの意味を考え、確率的モデルと他のモデルとを比較・検討できる。 ・モンテカルロ法や待ち行列など確定的モデルのシミュレーションの過程を表やグラフで表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・店舗の待ち行列など、具体的な事象のシミュレーションに関心を持ち、シミュレーションを用いた問題解決に意欲的に取り組む。 ・店舗のレジの待ち行列のシミュレーションを繰り返し、レジの窓口数を検討するなど、シミュレーションの結果を用いて問題を解決しようとする。	○	○	○	4
	D 単元 【知識及び技能】 アルゴリズム、プログラムを説明し、基本構造、手順を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 基本制御構造を用いてフローチャートで表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決のためのアルゴリズムに主体的に取り組む。	6章 アルゴリズムとプログラミング 6-1 プログラミングの方法 ・アルゴリズムとその表記 ・プログラミング言語	【知識・技能】 ・アルゴリズムとプログラムについてそれぞれ説明できる。 ・アルゴリズムの基本制御構造（順次、選択、反復）の違いについて説明できる。 ・プログラミングの手順（設計→コーディング→テスト）を理解する。 【思考・判断・表現】 ・簡単なアルゴリズムを文章やフローチャート等の図で表現できる。 ・基本制御構造（順次・選択・反復）を適切に用いて、簡単なアルゴリズムを表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・問題解決のためのアルゴリズムを考える学習に、主体的に取り組む。	○	○	○	3
	D 単元 【知識及び技能】 変数、配列、関数を用いて探索や整列のプログラムを作成する。 【思考力、判断力、表現力等】 基本制御構造を使用してプログラムを作成し、アルゴリズムを評価する。 【学びに向かう力、人間性等】 プログラムを相互評価し、効果的なプログラムを作成しようとする。	6章 アルゴリズムとプログラミング 6-2 プログラミングの実践 ・プログラミングの方法 ・関数を使用したプログラム ・探索と整列のプログラム	【知識・技能】 ・変数や配列を使用して、選択構造や反復構造のプログラムを作成できる。 ・関数の概念を理解して関数を使用し、簡単なプログラムを作成できる。 ・探索（線形探索、二分探索）および整列（バブルソート）のアルゴリズムを理解し、プログラムを作成できる。またアルゴリズムの違いによる評価を行うことができる。 【思考・判断・表現】 ・問題解決のアルゴリズムにしたがって、基本制御構造を使用して適切かつ効率的にプログラムを作成できる。 ・データ量と計算量の変化からアルゴリズムを評価し、適切なアルゴリズムを選択できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・問題解決のためのアルゴリズムを考え、試行錯誤しながらプログラムを作成できる。 ・問題解決のために作成したプログラムの記述を相互評価し、改善してより効率的なプログラムを作成できる。	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1

年間授業計画

板橋有徳 高等学校 令和7年度（2年次用） 教科

総合的な探究の時間 科目 総合的な探究の時間

教科： 総合的な探究の時間 科目： 総合的な探究の時間

単位数： 1 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 5 組

教科担当者： (1 組： 金山) (2 組： 土肥) (3 組： 早崎) (4 組： 林) (5 組： 遠藤)

使用教科書： ()

教科 総合的な探究の時間 の目標：

【知識及び技能】進路活動に必要な情報を収集する知識をつける

【思考力、判断力、表現力等】資料、講演等の活動を通して志望分野を深めようとする力を育てる。他者に伝えるための技術を身につける。

【学びに向かう力、人間性等】共に生きる社会を築くために他者と認め合う生き方を模索する態度を育てる。

科目 総合的な探究の時間 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
<ul style="list-style-type: none"> 一人1台端末を使って自分の進路実現に必要な情報を見つける。 「進路のしおり」を活用する力をつける。 見つけた情報を取捨選択し管理・蓄積させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の適性を見極め進路決定する。 自分の思考・表現力を最大限に生かして文章と面接で表現できるようにする。 卒業を前に自分のあり方を見つめ卒業研究に著す。 	<ul style="list-style-type: none"> 周りの仲間と情報交換し励まし合う。 お互いの人生を尊重し合い、認め合う。 共に社会を築く仲間として意見交換できる仲間を増やす。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配当 時数
			話	聞	書	読					
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 1年間の進路活動を把握させる。 【思考力、判断力、表現力等】 進路について深く考え決定させる 【学びに向かう力、人間性等】 安易な進路に流されず自己鍛錬させる。	・指導事項 オリエンテーション ・教材 1年間の進路活動の流れの把握	○				【知識・技能】 講演を聴き必要な情報を見つける 【思考・判断・表現】 ワークシートに的確なメモを取っている 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の進路希望に合う情報をつかもうとする態度があるか	○	○	○	5
	B 単元 【知識及び技能】 進路のしおりを進路活動に利用させる。 【思考力、判断力、表現力等】 進路について深く考え決定させる 【学びに向かう力、人間性等】 安易な進路に流されず自己鍛錬させる。	・指導事項 進路のしおり ・教材 進路のしおり、ワークシート ・一人1台端末の活用 等		○			出席 提出物 授業態度 体験・演習への取組	○	○	○	8
	定期考査							○	○		1
	C 単元 【知識及び技能】 国際理解教育における分野研究 【思考力、判断力、表現力等】 様々な情報を活用する。 【学びに向かう力、人間性等】 同じ分野を志望する仲間との情報共有	・指導事項 分野研究 ・教材 ワークシート ・一人1台端末の活用 等			○		出席 提出物 授業態度 体験・演習への取組	○	○	○	8
	D 単元 【知識及び技能】 オープンキャンパスについて講演を聞く。 【思考力、判断力、表現力等】 進路先を考え始める。 【学びに向かう力、人間性等】 同じ分野を志望する仲間との情報共有	・指導事項 進路のしおり ・教材 進路のしおり、ワークシート ・一人1台端末の活用 等			○		出席 提出物 授業態度 体験・演習への取組	○	○	○	7
定期考査							○	○		1	
2 学 期	E 単元 【知識及び技能】 国際理解教育におけるテーマ学習 【思考力、判断力、表現力等】 物事について深く考える 【学びに向かう力、人間性等】 グローバルな視野を広げる。	・指導事項 ・教材 ワークシート ・一人1台端末の活用 等			○		出席 提出物 授業態度 体験・演習への取組	○	○	○	8
	F 単元 【知識及び技能】 社会問題を考える。 【思考力、判断力、表現力等】 社会問題の中で興味を感じる分野を明確にする 新書を読んだり、小論文を書いてみる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と連携して社会問題の解決に向けて思考を深める。	・指導事項 進路のしおり ・教材 ワークシート ・一人1台端末の活用 等			○		出席 提出物 授業態度 体験・演習への取組	○	○	○	7
3 学 期	G 単元 【知識及び技能】 3年生に向けて、自分の進路を考える。 【思考力、判断力、表現力等】 1年間に何を学び、何が足りなかったのか自己分析する。 【学びに向かう力、人間性等】 自己の1年を進路活動の資料として次年度に残す。	・指導事項 進路のしおり ・教材 進路のしおり、ワークシート ・一人1台端末の活用 等			○		出席 提出物 授業態度 体験・演習への取組	○	○	○	7